

愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成27年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

目 次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 目 的 | 2 |
| 経 過 | 2 |
| 設置の根拠 | 3 |
| 施設の概要 | 3 |
| 所在地 土地・建物 中央病院 研究所 | |
| 組織と職員定数 | 8 |
| 組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表 | |
| 管理業務 | 10 |
| 会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等 | |
| 主な備品・設備 | 18 |
| 備品 附属設備 | |
| 病院業務 | 19 |
| 中央病院の特色等 外来診療経路 患者状況 患者給食実施状況等 | |
| 研究業務 | 27 |
| 研究所における部別研究課題 病院における課題別研究課題 共同研究課題等 | |
| 類似病院との比較 | 31 |
| 外来診療案内・入院案内 | 32 |

目 的

がんは、昭和56年に死亡原因の1位となり、その後も年々増加している。わが国におけるがんの対策は、諸外国と同様に、生活習慣病対策のなかで最も重要な国民的課題である。

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

経 過

| | |
|-------------|--|
| 昭和36年 1月12日 | 愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問 |
| 昭和36年 6月19日 | 同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定 |
| 昭和39年10月15日 | 建物竣工 |
| 昭和39年12月 1日 | 業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】 |
| 昭和44年 3月31日 | 病床22床増床（特別病床） |
| 昭和49年 8月31日 | 検査診断棟増築工事竣工 |
| 昭和57年 3月30日 | 遺伝子組換え実験室完成 |
| 昭和58年11月22日 | 診療管理棟竣工 |
| 昭和63年 8月31日 | 生物工学総合実験棟竣工 |
| 平成 3年12月20日 | 特殊放射線・診療棟竣工 |
| 平成 4年 2月29日 | 病棟竣工 |
| 平成 4年 5月18日 | 新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】 |
| 平成 6年 3月18日 | 国際医学交流センター・外来棟竣工 |
| 平成 6年 5月24日 | 国際医学交流センター・外来棟業務開始 |
| 平成 7年 6月30日 | 立体駐車場竣工 |
| 平成 7年12月25日 | 植栽工事（環境整備）完成 |
| 平成 9年 3月20日 | 研究所代替施設改修工事竣工 |
| 平成12年 3月10日 | 特定承認保険医療機関 承認 |
| 平成14年 1月11日 | 新研究所棟竣工 |
| 平成14年 2月 7日 | （名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館 |
| 平成14年 4月 1日 | 臨床研修病院の指定 |
| 平成14年 8月13日 | 地域がん診療拠点病院の指定 |
| 平成16年 4月 1日 | 地方公営企業法の全部適用 |
| 平成16年 9月27日 | 病院機能評価の認定（Ver4.0） |
| 平成17年 4月 1日 | 愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合 |
| 平成18年 9月21日 | 医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結 |
| 平成19年 1月31日 | 都道府県がん診療連携拠点病院の指定 |
| 平成21年 9月27日 | 病院機能評価の認定（Ver6.0） |
| 平成22年 4月 1日 | 都道府県がん診療連携拠点病院の更新 |
| 平成22年10月 1日 | 尾張診療所（一宮市）開設 |
| 平成25年 7月 1日 | 外来化学療法センター開設 |
| 平成26年 3月31日 | 尾張診療所（一宮市）閉所 |
| 平成26年 4月 1日 | 地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設 |
| 平成26年 9月27日 | 病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0） |
| 平成27年 4月 1日 | 都道府県がん診療連携拠点病院の更新 |

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置
現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

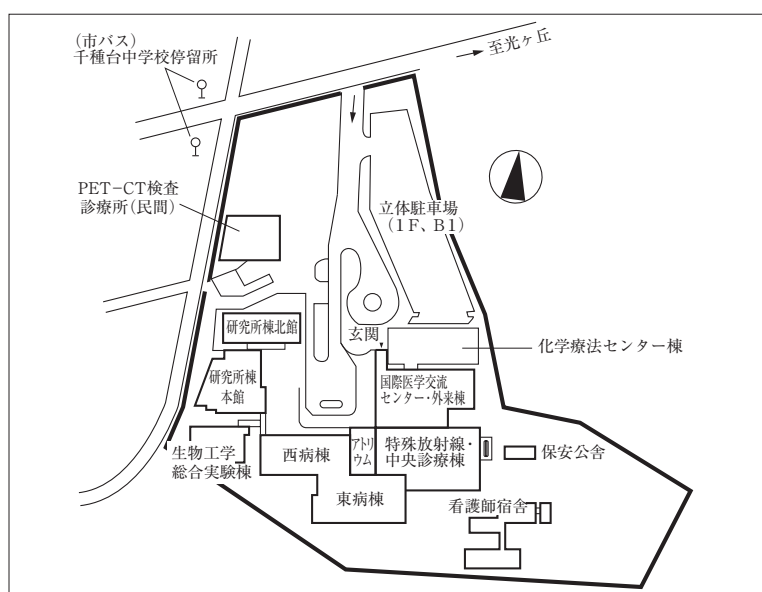
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者・研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成27年4月1日現在)



土地・建物

(平成27年4月1日現在)

| 区 | 分 | 構造・規模 | 延床面積 |
|--------|------------------|----------------------------|--------------------------|
| 土 | 地 | | 49,788.56 m ² |
| 建 物 | 合 計 | | 73,155.46 m ² |
| | 病 棟 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階 | 28,662.79 m ² |
| | 特殊放射線・中央診療棟 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階 | 12,274.96 m ² |
| | 国際医学交流センター・外来棟 | 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 | 7,203.43 m ² |
| | 化学療法センター棟 | 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階 | 1,992.92 m ² |
| | 研究所棟本館 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階 | 7,112.72 m ² |
| | 研究所棟北館 | 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階 | 3,244.43 m ² |
| | 生物工学総合実験棟 | 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階 | 2,116.03 m ² |
| | 看護師宿舎 | 鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟 | 3,352.33 m ² |
| | 保安公舎 | 鉄筋コンクリート造 地上3階 | 313.92 m ² |
| 立体駐車場 | 鉄筋コンクリート造2層建 | 6,526.47 m ² | |
| その他 | 危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等 | 355.46 m ² | |

中央病院

(平成27年4月1日現在)

(東) 病 棟 (西)

| | | 内 容 | 病床数 | 階別 | 内 容 | 病床数 | |
|-------------|--|-----------------------|--------------------------|-----|--|-----------------------------|-----|
| | | 機械室 | | 搭屋 | 機械室 | | |
| | | 特別病棟 (混合) | 25床 | 9階 | 特別病棟 (混合) | 25床 | |
| | | 特別病棟 (混合) | 30床 | 8階 | 一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸部外科、治験、緩和ケア(緊急)) | 50床 | |
| | | 一般病棟 (消化器内科・消化器外科) | 50床 | 7階 | 一般病棟 (消化器外科・消化器内科) | 50床 | |
| | | 一般病棟 (呼吸器内科、整形外科) | 50床 | 6階 | 一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・IVR科) | 49床 | |
| 特殊放射線・中央診療棟 | | 空調機械室 | | | 一般病棟 (小線源病棟(放射線治療科)(4床) (頭頸部外科)(46床)) | 50床 | |
| | | 手術部門、輸血部門 | ICU病棟 | 21床 | 4階 | 一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科) | 50床 |
| | | 臨床検査部門 | アイソトープ検査部門 管理部門(看護部) | | 3階 | 管理部門(総長室、病院長室等) | |
| | | 放射線診断・IVR部門 | 内視鏡部門 生理検査部門 | | 2階 | 管理部門(医局等) | |
| | | 中央滅菌材料室、供給部門 | 憩いのフロア、アトリウム (食堂、売店等) | | 1階 | 入院受付 管理部門(運用部等) | |
| | | 放射線治療部門、電気室 | 栄養管理部門 | | 地階 | 中央監視室、熱源機械室 | |

(病床合計 500床)

国際医学交流センター・外来棟

| 階 別 | 内 容 |
|-----|--|
| 3 階 | 外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等 |
| 2 階 | 総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門(薬局受付等)、会計等 |
| 1 階 | 国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等) |
| 地 階 | 薬剤部門(供給室等)、カルテ、フィルム庫 |

化学療法センター棟

| 階 別 | 内 容 |
|-----|---------------|
| 2 階 | 外来化学療法センター |
| 1 階 | 臨床試験部門 |
| 地 階 | 薬剤部門(ミキシング室等) |

都道府県がん診療連携拠点病院

第3次対がん10か年総合戦略においては、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるがん医療の均てん化が戦略目標に掲げられている。

この目標達成のために国によって整備が進められることになったがん診療連携拠点病院について、当院は、平成19年1月31日付で県内1か所の指定である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、県内の「地域がん診療連携拠点病院」及び、愛知県が指定する「愛知県がん診療拠点病院」の医療従事者に対する研修の実施、クリティカルパス（治療計画）の整備、診療実績等の共有、PDCAサイクルの確保など、地域の医療連携体制の構築を通じて支援している。

その他、院内に地域医療連携・相談支援センターを設け、患者・家族からの相談支援、医療情報の提供、社会保険労務士による就労相談を行っている。

また、平成26年4月からは緩和ケアセンターを開設し、緩和ケアチーム等と連携し、専門的な緩和ケアの提供を行っている。

外来化学療法センター

平成25年7月1日、待望の新外来化学療法センター棟が開設した。ベッド38床（うち個室3床）、チェア22台の計60床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。中庭を配置し、自然光が入る明るいフロアー、木の温もりあふれる空間を提供している。多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、看護師や薬剤師による副作用対応のための電話相談等も行い、きめ細やかな医療を提供している。

新しいセンターに移行し、外来化学療法センターの平成26年度利用患者総数は約21,000件で、1日あたりの利用者数は90人であった。名実ともに日本のがん治療を担うleading hospitalの新たな顔として機能している。



先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設置し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、①「パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん（腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。）」、②「パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん」、

③「術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」、④「ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）」、⑤「術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん（長径が5cm以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」、⑥「S-1内服投与、オキサリプラチン静

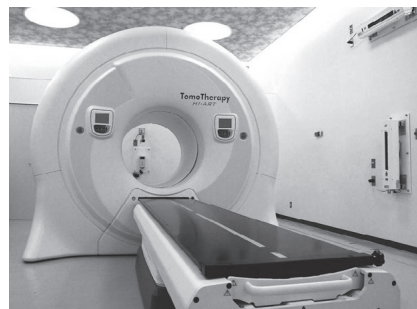
脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん」、⑦「術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん（洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。）」の医療技術について提供している。

治験支援室・臨床試験室

当院は、がん専門病院としては全国トップクラスの治験の実績を持っている。臨床試験部治験支援室では、製薬企業からの依頼を受けて新薬開発のための治験や製造販売後臨床試験、また医師が中心となって行う医師主導治験の支援を行っている。また、同部臨床試験室では、治験以外のさまざまな臨床試験の支援を行っている。

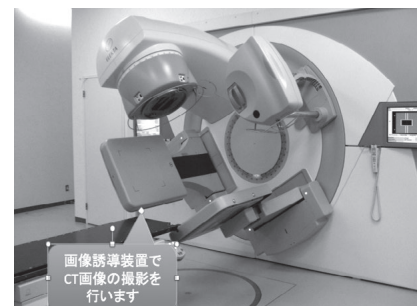
トモセラピー (Tomotherapy)

平成18年6月から稼働の放射線治療装置 Tomotherapy は強度変調放射線治療 (IMRT) 専用機として開発された。IMRTとは小さな鉛ブロックの開閉で照射野内の線量に強弱をつけ、かつ全周方向から照射・合成することで高精度な放射線分布を作る方法である。本装置は小型の放射線発生装置 (ライナック) を内蔵し、ヘリカルCT方式で治療ベッドを移動しながらスライス状ビームで治療する。



シナジー (Synergy)

平成24年7月に稼働したIMRTや定位治療などの高精度放射線治療に加え、従来の一般的な放射線治療も行なえる装置。治療直前にCT画像を撮影して正確に位置合わせを行い治療することができる。IMRTの需要が年々増加する中で、トモセラピーのみでは年間150人の治療が限度であったが、本装置の稼働によって年間のIMRTの治療人数をおよそ三割増加させることができた。



ネットワーク接続施設

国立がんセンター中央病院を核として、国立8病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計23施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさがかけてネットワークの一員となっている。

研究所棟本館

| | フロア | 南 | 北 | |
|--------------|-----|-----------|----------------|---------------------|
| 生物工学総合実験棟 | 6階 | 電気室 | 空調機械スペース | 研究所棟北館 |
| | 5階 | 腫瘍医化学部 | 疫学・予防部/中央実験室 | |
| | 4階 | 腫瘍免疫学部 | 感染腫瘍学部 | |
| | 3階 | 腫瘍病理学部 | 分子病態学部 | |
| | 2階 | 遺伝子医療研究部 | 分子腫瘍学部 | |
| 空調機械スペース | 1階 | 共同機器室/管理室 | 臨床研究室 | 空調機械スペース |
| 遺伝子実験室 RI実験室 | 地階 | 熱源機械室 | 実験動物飼育・実験室 その他 | 研究所長室 セミナー室等、疫学・予防部 |
| 管理室 RI実験室 | | | | 図書室 共同機器室 看護学生控え室等 |
| | | | | 運用部電算機室 保育所 他 |
| 空調機械室 電気室 | | | | 電気室 その他 |

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階(一部6階)、総床面積7,113㎡である。通常動物舎および発生工学動物飼育実験室が設置され、病原菌感染のない環境下で免疫能の低い特殊なマウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子改変動物の飼育と遺伝子機能解明のための実験が行われている。1階には管理室や共同機器室が置かれ、2階から5階には8部門の実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、疫学・予防部のほか図書室、セミナー室、電算機室、看護学生控え室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。2階と3階の大部分はRI管理区域に指定されている。本年度からは、最新の使用目的に合うよう改修が計画されている。



質量分析装置

分子量が数百から数万までの分子をパルス・レーザー光でイオン化(MALDI方式)させ、その飛行時間から質量を精密に測定する装置である。本装置を液体クロマトグラフィーと連結して解析に用いることにより、タンパク質・糖鎖・脂質等の網羅的で迅速な精密分析が高感度で可能になる。



質量分析装置

蛍光実体顕微鏡

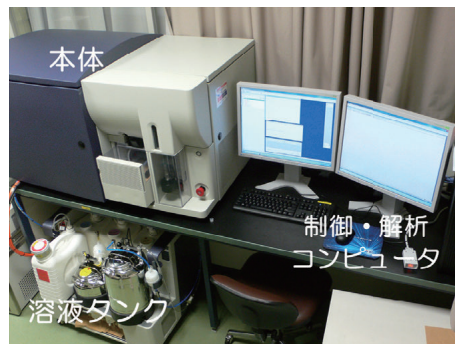
動物実験において、蛍光標識した腫瘍細胞等を、実験動物ごとあるいは臓器ごと観察、定量する機器。腫瘍の臓器分布、臓器内分布を実体顕微鏡下で観察出来る。転移・浸潤の研究に必須の機器である。



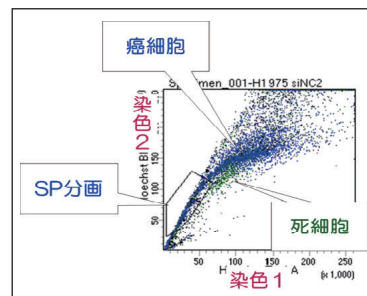
蛍光実体顕微鏡

細胞分取装置(セルソータ)

複数の種類の細胞の集まりから、その性質に従って分離し、特定の細胞を生きたまま、無菌的に回収することができる装置である。



細胞分取装置



データ提供：長田啓隆博士(分子腫瘍学部)

凍結切片作成装置

凍結切片作製装置は、凍結処理した生体試料を、ごく薄く切断する専用装置である。薄く切断された生体試料(切片)は、スライドガラス上に載せられ、さまざまな試薬や抗体を用いて、解析をすることができる。



凍結切片作成装置

組織と職員定数

組 織 (平成27年4月1日現在)



役職者一覧表

(平成27年4月1日現在)

| 役職名 | | | 氏名 | | | 備考 | | |
|-------------|------------------|-----------|-------|-----------|--|--------------|--|--|
| 総 | 長 | | 木下平 | | | | | |
| | 運用部 | 運用部長 | 後藤輝夫 | | | | | |
| | | 経営戦略室長 | 荒木政彦 | | | | | |
| | | 管理課長 | 池端淳一 | | | | | |
| | 院長 | | 丹羽康正 | | | | | |
| | 中央 | 副院長 | 長谷川泰久 | | | | | |
| | | | 岩田広治 | | | | | |
| | | | 高木仁美 | | | | | |
| | | | 欠 | | | | | |
| | | 消化器内科部長 | 山雄健次 | | | | | |
| | | 内視鏡部長 | 欠 | | | | | |
| | | 呼吸器内科部長 | 樋田豊明 | | | | | |
| | | 血液・細胞療法部長 | 木下朝博 | | | | | |
| | | 薬物療法部長 | 室圭 | | | | | |
| | | 臨床検査部長 | 谷田部恭 | | | 遺伝子病理診断部長(兼) | | |
| | | 遺伝子病理診断部長 | 谷田部恭 | | | | | |
| | | 輸血部長 | 木下朝博 | | | 血液・細胞療法部長(兼) | | |
| | | 頭頸部外科部長 | 長谷川泰久 | | | 副院長(兼) | | |
| | 形成外科部長 | 兵藤伊久夫 | | | | | | |
| | 呼吸器外科部長 | 坂尾幸則 | | | | | | |
| 乳腺科部長 | 岩田広治 | | | 副院長(兼) | | | | |
| 消化器外科部長 | 清水泰博 | | | | | | | |
| 整形外科部長 | 杉浦英志 | | | | | | | |
| リハビリテーション部長 | 杉浦英志 | | | 整形外科部長(兼) | | | | |
| 泌尿器科部長 | 林宣男 | | | | | | | |
| 婦人科部長 | 水野美香 | | | | | | | |
| 中央 | 麻酔科部長 | | 仲田純也 | | | | | |
| | 集中治療部長 | | 波多野潔 | | | 循環器科部長(兼) | | |
| | 放射線診断・IVR部長 | | 稲葉吉隆 | | | | | |
| | 放射線治療部長 | | 古平毅 | | | | | |
| | 外来部長 | | 堀尾芳嗣 | | | | | |
| | 手術部長 | | 伊藤誠二 | | | | | |
| | 循環器科部長 | | 波多野潔 | | | | | |
| | 緩和ケア部長 | | 小森康永 | | | | | |
| | 看護部長 | | 高木仁美 | | | 副院長(兼) | | |
| | 薬剤部長 | | 岩田修一 | | | | | |
| | 栄養管理部長 | | 欠 | | | | | |
| | 医療安全管理部長 | | 長谷川泰久 | | | 副院長(兼) | | |
| | 臨床試験部長 | | 山本一仁 | | | | | |
| | 医療情報管理部長 | | 岩田広治 | | | 副院長(兼) | | |
| | 外来化学療法センター長 | | 室圭 | | | 薬物療法部長(兼) | | |
| | 地域医療連携・相談支援センター長 | | 堀尾芳嗣 | | | 外来部長(兼) | | |
| | 緩和ケアセンター長 | | 小森康永 | | | 緩和ケア部長(兼) | | |
| 研究所 | 研究所長 | | 木下平 | | | 事務取扱 | | |
| | 副所長 | | 関戸好孝 | | | | | |
| | 疫学・予防部長 | | 田中英夫 | | | | | |
| | 腫瘍病理学部長 | | 欠 | | | | | |
| | 分子腫瘍学部長 | | 関戸好孝 | | | 副所長(兼) | | |
| | 遺伝子医療研究部長 | | 欠 | | | | | |
| | 腫瘍免疫学部長 | | 葛島清隆 | | | | | |
| | 感染腫瘍学部長 | | 小根山千歳 | | | | | |
| | 分子病態学部長 | | 青木正博 | | | | | |
| | 腫瘍医化学部長 | | 稲垣昌樹 | | | | | |

職種別・職員定員一覧表

(平成27年4月1日現在)

| 職種別 | 部門別 | 総数 | 運用部 | 病院 | 研究所 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総 | 数 | 691 | 27 | 613 | 51 |
| 事 | 務 | 29 | 26 | 3 | |
| 医療社会事業員 | | 1 | | 1 | |
| 医師 | | 124 | 1 | 94 | 29 |
| 歯科医師 | | 2 | | 1 | 1 |
| 理学士・研究員 | | 12 | | | 12 |
| 診療放射線技師 | | 25 | | 25 | |
| 理学療法士 | | 2 | | 2 | |
| 薬剤師 | | 25 | | 25 | |
| 臨床検査技師 | | 29 | | 29 | |
| 臨床工学技士 | | 3 | | 3 | |
| 看護師 | | 394 | | 394 | |
| 看護助手 | | 3 | | 3 | |
| 栄養士 | | 3 | | 3 | |
| 歯科衛生士 | | 1 | | 1 | |
| その他給食関係職員 | | 16 | | 16 | |
| 臨床試験コーディネーター | | 13 | | 13 | |
| 研究補助 | | 9 | | | 9 |

管理業務

会計予算

(収益的收入支出)

(単位 千円)

| (款) 項 | 目 | 金 額 | |
|-----------|---------------------|-------------|------------|
| | | 26年度当初予算 | 27年度当初予算 |
| (事業収益) | | 19,343,047 | 19,272,025 |
| 医 業 収 益 | | 16,854,776 | 16,727,001 |
| | 入 院 収 益 | 9,096,384 | 8,754,503 |
| | 外 来 収 益 | 5,605,574 | 5,714,531 |
| | 一般会計負担金 | 986,859 | 1,108,036 |
| | その他医業収益 | 1,165,959 | 1,149,931 |
| 医 業 外 収 益 | | 2,488,271 | 2,545,024 |
| | 受取利息配当金 | 230 | 123 |
| | 一般会計負担金 | 1,384,504 | 1,363,138 |
| | 国庫補助金 | 16,381 | 15,071 |
| | 長期前受金戻入 | 706,262 | 548,187 |
| | その他医業外収益 | 380,894 | 615,125 |
| 特 別 利 益 | 特 別 利 益 | 0 | 0 |
| (事業費) | | 21,341,072 | 18,770,901 |
| 医 業 費 用 | | 17,433,703 | 18,622,752 |
| | 給 与 費 | 8,000,648 | 8,322,168 |
| | 材 料 費 | 5,559,028 | 5,888,901 |
| | 経 費 | 2,260,553 | 2,375,792 |
| | 減 価 償 却 費 | 1,121,109 | 1,349,547 |
| | 資 産 減 耗 費 | 45,403 | 59,827 |
| | 研 究 研 修 費 | 446,962 | 626,517 |
| 医 業 外 費 用 | | 198,393 | 143,149 |
| | 支払利息・企債諸費 | 100,840 | 90,752 |
| | 長期前払消費税償却 | 29,853 | 27,689 |
| | 雑 損 失 | 2 | 2,001 |
| | 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 | 67,698 | 22,707 |
| 特 別 損 失 | | 3,703,976 | 0 |
| 予 備 費 | 予 備 費 | 5,000 | 5,000 |
| 差 引 損 益 | | △ 1,998,025 | 501,124 |

(資本的収入支出)

(単位 千円)

| (款) 項 | 目 | 金 額 | |
|-------------|---------------|-----------|-----------|
| | | 26年度当初予算 | 27年度当初予算 |
| (資本的収入) | | 1,147,783 | 1,401,175 |
| 企 業 債 | 企 業 債 | 688,000 | 903,000 |
| 国 庫 支 出 金 | 国 庫 補 助 金 | 0 | 0 |
| 他 会 計 出 資 金 | 一 般 会 計 出 資 金 | 0 | 0 |
| 他 会 計 負 担 金 | 一 般 会 計 負 担 金 | 439,783 | 448,175 |
| 雑 収 入 | 雑 収 入 | 20,000 | 20,000 |
| (資本的支出) | | 1,935,025 | 2,191,292 |
| 建 設 改 良 費 | | 94,850 | 43,748 |
| | 建 設 費 | 0 | 0 |
| | 改 良 費 | 94,850 | 43,748 |
| 資 産 購 入 費 | | 984,539 | 1,275,923 |
| | 医 療 器 械 購 入 費 | 651,711 | 941,375 |
| | 備 品 購 入 費 | 100 | 100 |
| | リ ー ス 債 務 費 | 332,728 | 334,448 |
| 企 業 債 償 還 金 | 企 業 債 償 還 金 | 855,636 | 871,621 |
| 収 支 | | △ 787,242 | △ 790,117 |

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位 千円・税抜き)

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|---------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----------|
| 事業収益 | 15,989,185 | 16,338,919 | 16,666,489 | 16,318,503 | 17,165,299 | |
| 内 訳 | 入 院 収 益 | 7,805,576 | 7,700,007 | 8,163,112 | 7,946,933 | 7,782,370 |
| | 外 来 収 益 | 4,130,729 | 4,427,626 | 4,656,661 | 4,947,789 | 5,271,329 |
| | 一般会計負担金 | 2,701,066 | 2,761,264 | 2,533,100 | 2,453,926 | 2,303,929 |
| | そ の 他 | 1,351,814 | 1,450,022 | 1,313,616 | 969,855 | 1,807,671 |
| 特別利益 | 194,877 | 90,968 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業費用 | 14,984,012 | 15,420,224 | 15,884,759 | 15,978,366 | 17,035,164 | |
| 内 訳 | 給 与 費 | 7,131,720 | 7,434,894 | 7,546,630 | 7,071,530 | 7,232,431 |
| | そ の 他 | 7,852,292 | 7,985,330 | 8,338,129 | 8,906,836 | 9,802,733 |
| 特別損失 | 130,345 | 0 | 0 | 0 | 3,345,799 | |
| 経 常 損 益 | 1,005,173 | 918,695 | 781,730 | 340,137 | 130,136 | |
| 純 損 益 | 1,069,705 | 1,009,663 | 781,730 | 340,137 | △ 3,215,663 | |

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

(注3) 平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

がん患者状況(院内登録)

年次別・部位別がん患者数(男女計) 1964— 2013

| がんの部位 区分 (ICD10) | 全部位 (C00~D09) | 食道がん (C15) | 胃がん (C16) | 結腸がん (C18) | 直腸がん (C19~C21) | 肝臓がん (C22) | 頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32) | 肺がん (C33, C34) | 乳房がん (C50) | 子宮 がん (C53~C55 C58) | 泌尿器 のがん (C60~C68) | 甲状腺 がん (C73) | 悪性 リンパ腫 (C82, C84 C85, C96) | 白血病 (C91~C95) | その他 のがん |
|------------------------|------------------|---------------|--------------|---------------|-------------------|---------------|------------------------------------|-------------------|---------------|------------------------------|-------------------------|--------------------|--------------------------------------|------------------|------------|
| 昭和39年(1964) | 65 | 2 | 18 | 0 | 2 | 0 | 11 | 5 | 10 | 10 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 昭和40年(1965) | 1,437 | 43 | 506 | 20 | 58 | 16 | 109 | 99 | 167 | 245 | 19 | 13 | 4 | 19 | 119 |
| 昭和41年(1966) | 1,606 | 51 | 549 | 28 | 68 | 20 | 145 | 101 | 207 | 257 | 19 | 19 | 6 | 17 | 119 |
| 昭和42年(1967) | 1,525 | 40 | 525 | 32 | 62 | 25 | 136 | 114 | 156 | 263 | 24 | 13 | 4 | 12 | 119 |
| 昭和43年(1968) | 1,485 | 36 | 448 | 25 | 49 | 23 | 125 | 115 | 191 | 291 | 23 | 21 | 9 | 20 | 109 |
| 昭和44年(1969) | 1,571 | 42 | 488 | 20 | 68 | 21 | 131 | 120 | 203 | 286 | 19 | 22 | 9 | 10 | 132 |
| 昭和45年(1970) | 1,567 | 48 | 437 | 36 | 62 | 27 | 124 | 124 | 222 | 287 | 21 | 20 | 7 | 23 | 129 |
| 昭和46年(1971) | 1,639 | 45 | 438 | 32 | 59 | 37 | 149 | 125 | 228 | 303 | 21 | 30 | 10 | 12 | 150 |
| 昭和47年(1972) | 1,659 | 46 | 427 | 40 | 70 | 30 | 155 | 152 | 242 | 297 | 20 | 19 | 6 | 17 | 138 |
| 昭和48年(1973) | 1,497 | 41 | 390 | 32 | 73 | 28 | 116 | 132 | 191 | 284 | 12 | 26 | 14 | 13 | 145 |
| 昭和49年(1974) | 1,364 | 54 | 348 | 36 | 61 | 9 | 113 | 121 | 224 | 222 | 14 | 25 | 6 | 9 | 122 |
| 昭和50年(1975) | 1,427 | 38 | 375 | 42 | 65 | 13 | 100 | 133 | 214 | 243 | 9 | 28 | 5 | 19 | 143 |
| 昭和51年(1976) | 1,326 | 39 | 352 | 32 | 92 | 25 | 66 | 119 | 202 | 236 | 12 | 18 | 11 | 2 | 120 |
| 昭和52年(1977) | 1,286 | 37 | 327 | 49 | 85 | 14 | 62 | 111 | 201 | 215 | 8 | 20 | 7 | 15 | 135 |
| 昭和53年(1978) | 1,391 | 53 | 345 | 42 | 74 | 15 | 69 | 133 | 231 | 212 | 15 | 24 | 8 | 9 | 161 |
| 昭和54年(1979) | 1,358 | 36 | 336 | 53 | 49 | 28 | 82 | 132 | 241 | 197 | 12 | 21 | 34 | 9 | 128 |
| 昭和55年(1980) | 1,377 | 45 | 334 | 55 | 71 | 23 | 68 | 136 | 289 | 164 | 15 | 26 | 31 | 15 | 105 |
| 昭和56年(1981) | 1,363 | 43 | 326 | 48 | 73 | 32 | 48 | 143 | 302 | 162 | 16 | 22 | 29 | 11 | 108 |
| 昭和57年(1982) | 1,332 | 34 | 295 | 49 | 69 | 26 | 68 | 151 | 316 | 170 | 9 | 14 | 27 | 13 | 91 |
| 昭和58年(1983) | 1,405 | 49 | 297 | 76 | 85 | 25 | 72 | 154 | 300 | 161 | 12 | 19 | 34 | 13 | 108 |
| 昭和59年(1984) | 1,362 | 41 | 306 | 72 | 67 | 27 | 63 | 139 | 331 | 134 | 6 | 15 | 29 | 16 | 116 |
| 昭和60年(1985) | 1,482 | 35 | 297 | 77 | 77 | 37 | 86 | 157 | 364 | 140 | 12 | 19 | 50 | 3 | 128 |
| 昭和61年(1986) | 1,396 | 37 | 311 | 54 | 74 | 43 | 67 | 134 | 326 | 149 | 8 | 22 | 52 | 6 | 113 |
| 昭和62年(1987) | 1,384 | 34 | 268 | 68 | 74 | 34 | 74 | 156 | 337 | 139 | 14 | 20 | 38 | 10 | 118 |
| 昭和63年(1988) | 1,421 | 39 | 275 | 105 | 57 | 28 | 81 | 167 | 348 | 147 | 6 | 18 | 40 | 11 | 99 |
| 平成元年(1989) | 1,261 | 32 | 272 | 64 | 54 | 32 | 86 | 151 | 269 | 141 | 7 | 28 | 32 | 10 | 83 |
| 平成2年(1990) | 1,280 | 39 | 246 | 82 | 72 | 45 | 96 | 125 | 243 | 151 | 8 | 30 | 39 | 7 | 97 |
| 平成3年(1991) | 1,262 | 39 | 217 | 99 | 68 | 39 | 64 | 134 | 276 | 168 | 6 | 22 | 34 | 9 | 87 |
| 平成4年(1992) | 1,344 | 46 | 224 | 84 | 64 | 32 | 94 | 169 | 275 | 175 | 8 | 38 | 30 | 6 | 99 |
| 平成5年(1993) | 1,464 | 48 | 261 | 125 | 74 | 62 | 88 | 184 | 300 | 143 | 10 | 26 | 39 | 8 | 96 |
| 平成6年(1994) | 1,469 | 62 | 264 | 100 | 84 | 42 | 94 | 180 | 298 | 152 | 24 | 23 | 45 | 3 | 98 |
| 平成7年(1995) | 1,463 | 46 | 249 | 111 | 74 | 49 | 113 | 178 | 287 | 106 | 57 | 24 | 36 | 1 | 132 |
| 平成8年(1996) | 1,462 | 51 | 202 | 96 | 66 | 49 | 124 | 200 | 290 | 106 | 74 | 29 | 32 | 7 | 136 |
| 平成9年(1997) | 1,598 | 43 | 235 | 110 | 67 | 60 | 144 | 219 | 307 | 129 | 61 | 23 | 24 | 9 | 167 |
| 平成10年(1998) | 1,684 | 56 | 250 | 120 | 68 | 67 | 134 | 246 | 296 | 144 | 68 | 30 | 31 | 11 | 163 |
| 平成11年(1999) | 1,810 | 66 | 245 | 101 | 84 | 64 | 141 | 277 | 364 | 116 | 73 | 30 | 29 | 11 | 209 |
| 平成12年(2000) | 1,812 | 65 | 252 | 113 | 63 | 55 | 168 | 275 | 309 | 136 | 74 | 27 | 38 | 13 | 224 |
| 平成13年(2001) | 1,922 | 114 | 242 | 122 | 94 | 58 | 158 | 291 | 326 | 153 | 71 | 44 | 38 | 10 | 201 |
| 平成14年(2002) | 2,049 | 106 | 257 | 134 | 110 | 61 | 198 | 314 | 314 | 141 | 88 | 44 | 40 | 10 | 232 |
| 平成15年(2003) | 2,085 | 113 | 242 | 150 | 110 | 54 | 201 | 305 | 293 | 144 | 116 | 43 | 46 | 7 | 261 |
| 平成16年(2004) | 2,162 | 130 | 270 | 131 | 108 | 61 | 203 | 297 | 295 | 174 | 115 | 52 | 41 | 7 | 278 |
| 平成17年(2005) | 2,223 | 139 | 286 | 147 | 147 | 73 | 206 | 317 | 296 | 143 | 102 | 36 | 42 | 5 | 284 |
| 平成18年(2006) | 2,192 | 146 | 304 | 144 | 155 | 55 | 193 | 307 | 285 | 117 | 156 | 43 | 53 | 5 | 229 |
| 平成19年(2007) | 2,359 | 152 | 295 | 154 | 152 | 61 | 178 | 332 | 329 | 152 | 138 | 50 | 57 | 5 | 304 |
| 平成20年(2008) | 2,451 | 138 | 343 | 158 | 151 | 35 | 155 | 294 | 406 | 186 | 154 | 52 | 27 | 11 | 341 |
| 平成21年(2009) | 2,832 | 155 | 307 | 161 | 157 | 77 | 252 | 383 | 425 | 259 | 221 | 52 | 34 | 15 | 334 |
| 平成22年(2010) | 2,975 | 178 | 342 | 187 | 162 | 94 | 224 | 410 | 450 | 239 | 224 | 50 | 33 | 12 | 370 |
| 平成23年(2011) | 2,417 | 140 | 247 | 138 | 123 | 49 | 214 | 330 | 441 | 187 | 208 | 51 | 30 | 11 | 248 |
| 平成24年(2012) | 2,944 | 207 | 345 | 169 | 176 | 62 | 263 | 343 | 497 | 217 | 185 | 48 | 26 | 8 | 398 |
| 平成25年(2013) | 2,971 | 184 | 324 | 179 | 154 | 65 | 293 | 379 | 523 | 208 | 180 | 57 | 29 | 13 | 383 |
| 合計 | 84,216 | 3,503 | 15,739 | 4,302 | 4,281 | 2,007 | 6,404 | 9,813 | 14,437 | 9,201 | 2,776 | 1,446 | 1,375 | 518 | 8,414 |

※平成8年までは、ICD9による集計

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964— 2013

| がんの部位 区分 (ICD10) | 全部位 (C00~D09) | 食道がん (C15) | 胃がん (C16) | 結腸がん (C18) | 直腸がん (C19~C21) | 肝臓がん (C22) | 頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32) | 肺がん (C33, C34) | 乳房がん (C50) | 子宮 がん (C53~C55 C58) | 泌尿器 のがん (C60~C68) | 甲状腺 がん (C73) | 悪性 リンパ腫 (C82, C84 C85, C96) | 白血病 (C91~C95) | その他 のがん |
|------------------------|------------------|---------------|--------------|---------------|-------------------|---------------|------------------------------------|-------------------|---------------|------------------------------|-------------------------|--------------------|--------------------------------------|------------------|------------|
| 昭和39年(1964) | 100.0 | 3.1 | 27.7 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 16.9 | 7.7 | 15.4 | 15.4 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.7 |
| 昭和40年(1965) | 100.0 | 3.0 | 35.2 | 1.4 | 4.0 | 1.1 | 7.6 | 6.9 | 11.6 | 17.1 | 1.3 | 0.9 | 0.3 | 1.3 | 8.3 |
| 昭和41年(1966) | 100.0 | 3.2 | 34.2 | 1.7 | 4.2 | 1.2 | 9.0 | 6.3 | 12.9 | 16.0 | 1.2 | 1.2 | 0.4 | 1.1 | 7.4 |
| 昭和42年(1967) | 100.0 | 2.6 | 34.4 | 2.1 | 4.1 | 1.6 | 8.9 | 7.5 | 10.2 | 17.2 | 1.6 | 0.9 | 0.3 | 0.8 | 7.8 |
| 昭和43年(1968) | 100.0 | 2.4 | 30.2 | 1.7 | 3.3 | 1.6 | 8.4 | 7.7 | 12.9 | 19.6 | 1.6 | 1.4 | 0.6 | 1.3 | 7.3 |
| 昭和44年(1969) | 100.0 | 2.7 | 31.1 | 1.3 | 4.3 | 1.3 | 8.4 | 7.6 | 12.9 | 18.2 | 1.2 | 1.4 | 0.6 | 0.6 | 8.4 |
| 昭和45年(1970) | 100.0 | 3.1 | 27.9 | 2.3 | 4.0 | 1.7 | 7.9 | 7.9 | 14.2 | 18.3 | 1.3 | 1.3 | 0.4 | 1.5 | 8.2 |
| 昭和46年(1971) | 100.0 | 2.7 | 26.7 | 2.0 | 3.6 | 2.3 | 9.1 | 7.6 | 13.9 | 18.5 | 1.3 | 1.8 | 0.6 | 0.7 | 9.2 |
| 昭和47年(1972) | 100.0 | 2.8 | 25.7 | 2.4 | 4.2 | 1.8 | 9.3 | 9.2 | 14.6 | 17.9 | 1.2 | 1.2 | 0.4 | 1.0 | 8.3 |
| 昭和48年(1973) | 100.0 | 2.7 | 26.1 | 2.1 | 4.9 | 1.9 | 7.7 | 8.8 | 12.8 | 19.0 | 0.8 | 1.7 | 0.9 | 0.9 | 9.7 |
| 昭和49年(1974) | 100.0 | 4.0 | 25.5 | 2.6 | 4.5 | 0.7 | 8.3 | 8.9 | 16.4 | 16.3 | 1.0 | 1.8 | 0.4 | 0.7 | 8.9 |
| 昭和50年(1975) | 100.0 | 2.7 | 26.3 | 2.9 | 4.6 | 0.9 | 7.0 | 9.3 | 15.0 | 17.0 | 0.6 | 2.0 | 0.4 | 1.3 | 10.0 |
| 昭和51年(1976) | 100.0 | 2.9 | 26.6 | 2.4 | 6.9 | 1.9 | 5.0 | 9.0 | 15.2 | 17.8 | 0.9 | 1.4 | 0.8 | 0.2 | 9.0 |
| 昭和52年(1977) | 100.0 | 2.9 | 25.4 | 3.8 | 6.6 | 1.1 | 4.8 | 8.6 | 15.6 | 16.7 | 0.6 | 1.6 | 0.5 | 1.2 | 10.5 |
| 昭和53年(1978) | 100.0 | 3.8 | 24.8 | 3.0 | 5.3 | 1.1 | 5.0 | 9.6 | 16.6 | 15.2 | 1.1 | 1.7 | 0.6 | 0.6 | 11.6 |
| 昭和54年(1979) | 100.0 | 2.7 | 24.7 | 3.9 | 3.6 | 2.1 | 6.0 | 9.7 | 17.8 | 14.5 | 0.9 | 1.5 | 2.5 | 0.7 | 9.4 |
| 昭和55年(1980) | 100.0 | 3.3 | 24.3 | 4.0 | 5.1 | 1.7 | 4.9 | 9.9 | 21.0 | 11.9 | 1.1 | 1.9 | 2.2 | 1.1 | 7.6 |
| 昭和56年(1981) | 100.0 | 3.2 | 23.9 | 3.5 | 5.4 | 2.3 | 3.5 | 10.5 | 22.2 | 11.9 | 1.2 | 1.6 | 2.1 | 0.8 | 7.9 |
| 昭和57年(1982) | 100.0 | 2.6 | 22.1 | 3.7 | 5.2 | 2.0 | 5.1 | 11.3 | 23.7 | 12.8 | 0.7 | 1.0 | 2.0 | 1.0 | 6.8 |
| 昭和58年(1983) | 100.0 | 3.5 | 21.1 | 5.4 | 6.0 | 1.8 | 5.1 | 11.0 | 21.4 | 11.5 | 0.9 | 1.3 | 2.4 | 0.9 | 7.7 |
| 昭和59年(1984) | 100.0 | 3.0 | 22.5 | 5.3 | 4.9 | 2.0 | 4.6 | 10.2 | 24.3 | 9.8 | 0.5 | 1.1 | 2.1 | 1.2 | 8.5 |
| 昭和60年(1985) | 100.0 | 2.4 | 20.0 | 5.2 | 5.2 | 2.5 | 5.8 | 10.6 | 24.6 | 9.4 | 0.8 | 1.3 | 3.4 | 0.2 | 8.6 |
| 昭和61年(1986) | 100.0 | 2.6 | 22.3 | 3.9 | 5.3 | 3.1 | 4.8 | 9.6 | 23.3 | 10.7 | 0.6 | 1.6 | 3.7 | 0.4 | 8.1 |
| 昭和62年(1987) | 100.0 | 2.5 | 19.4 | 4.9 | 5.4 | 2.5 | 5.4 | 11.3 | 24.3 | 10.0 | 1.0 | 1.4 | 2.7 | 0.7 | 8.5 |
| 昭和63年(1988) | 100.0 | 2.7 | 19.4 | 7.4 | 4.0 | 2.0 | 5.7 | 11.7 | 24.5 | 10.3 | 0.4 | 1.3 | 2.8 | 0.8 | 7.0 |
| 平成元年(1989) | 100.0 | 2.5 | 21.6 | 5.1 | 4.3 | 2.5 | 6.8 | 12.0 | 21.3 | 11.2 | 0.6 | 2.2 | 2.5 | 0.8 | 6.6 |
| 平成2年(1990) | 100.0 | 3.1 | 19.2 | 6.4 | 5.6 | 3.5 | 7.5 | 9.8 | 19.0 | 11.8 | 0.6 | 2.3 | 3.1 | 0.5 | 7.6 |
| 平成3年(1991) | 100.0 | 3.1 | 17.2 | 7.8 | 5.4 | 3.1 | 5.1 | 10.6 | 21.9 | 13.3 | 0.5 | 1.7 | 2.7 | 0.7 | 6.9 |
| 平成4年(1992) | 100.0 | 3.4 | 16.7 | 6.2 | 4.8 | 2.4 | 7.0 | 12.6 | 20.5 | 13.0 | 0.6 | 2.8 | 2.2 | 0.4 | 7.4 |
| 平成5年(1993) | 100.0 | 3.3 | 17.8 | 8.5 | 5.0 | 4.2 | 6.0 | 12.6 | 20.5 | 9.8 | 0.7 | 1.8 | 2.7 | 0.5 | 6.6 |
| 平成6年(1994) | 100.0 | 4.2 | 18.0 | 6.8 | 5.7 | 2.9 | 6.4 | 12.2 | 20.3 | 10.3 | 1.6 | 1.6 | 3.1 | 0.2 | 6.7 |
| 平成7年(1995) | 100.0 | 3.1 | 17.0 | 7.6 | 5.1 | 3.4 | 7.7 | 12.2 | 19.6 | 7.2 | 3.9 | 1.6 | 2.5 | 0.1 | 9.0 |
| 平成8年(1996) | 100.0 | 3.5 | 13.8 | 6.6 | 4.5 | 3.3 | 8.5 | 13.7 | 19.8 | 7.2 | 5.1 | 2.0 | 2.2 | 0.5 | 9.3 |
| 平成9年(1997) | 100.0 | 2.7 | 14.7 | 6.9 | 4.2 | 3.7 | 9.0 | 13.7 | 19.2 | 8.1 | 3.8 | 1.4 | 1.5 | 0.6 | 10.5 |
| 平成10年(1998) | 100.0 | 3.3 | 14.8 | 7.1 | 4.0 | 4.0 | 8.0 | 14.6 | 17.6 | 8.6 | 4.0 | 1.8 | 1.8 | 0.7 | 9.7 |
| 平成11年(1999) | 100.0 | 3.7 | 13.5 | 5.6 | 4.6 | 3.5 | 7.8 | 15.3 | 20.1 | 6.4 | 4.0 | 1.7 | 1.6 | 0.6 | 11.6 |
| 平成12年(2000) | 100.0 | 3.6 | 13.9 | 6.2 | 3.5 | 3.0 | 9.3 | 15.2 | 17.0 | 7.5 | 4.1 | 1.5 | 2.1 | 0.7 | 12.4 |
| 平成13年(2001) | 100.0 | 5.9 | 12.6 | 6.3 | 4.9 | 3.0 | 8.2 | 15.1 | 17.0 | 8.0 | 3.7 | 2.3 | 2.0 | 0.5 | 10.5 |
| 平成14年(2002) | 100.0 | 5.2 | 12.6 | 6.5 | 5.4 | 3.0 | 9.7 | 15.3 | 15.3 | 6.9 | 4.3 | 2.1 | 2.0 | 0.5 | 11.3 |
| 平成15年(2003) | 100.0 | 5.4 | 11.5 | 7.2 | 5.3 | 2.6 | 9.6 | 14.6 | 14.1 | 6.9 | 5.6 | 2.1 | 2.2 | 0.3 | 12.5 |
| 平成16年(2004) | 100.0 | 6.0 | 12.5 | 6.1 | 5.0 | 2.8 | 9.4 | 13.7 | 13.6 | 8.1 | 5.3 | 2.4 | 1.9 | 0.3 | 12.9 |
| 平成17年(2005) | 100.0 | 6.3 | 12.9 | 6.6 | 6.6 | 3.3 | 9.3 | 14.3 | 13.3 | 6.4 | 4.6 | 1.6 | 1.9 | 0.2 | 12.8 |
| 平成18年(2006) | 100.0 | 6.7 | 13.9 | 6.6 | 7.1 | 2.5 | 8.8 | 14.0 | 13.0 | 5.3 | 7.1 | 2.0 | 2.4 | 0.2 | 10.4 |
| 平成19年(2007) | 100.0 | 6.4 | 12.5 | 6.5 | 6.4 | 2.6 | 7.5 | 14.1 | 13.9 | 6.4 | 5.8 | 2.1 | 2.4 | 0.2 | 12.9 |
| 平成20年(2008) | 100.0 | 5.6 | 14.0 | 6.4 | 6.2 | 1.4 | 6.3 | 12.0 | 16.6 | 7.6 | 6.3 | 2.1 | 1.1 | 0.4 | 14.0 |
| 平成21年(2009) | 100.0 | 5.5 | 10.8 | 5.7 | 5.5 | 2.7 | 8.9 | 13.5 | 15.0 | 9.2 | 7.8 | 1.9 | 1.2 | 0.5 | 11.8 |
| 平成22年(2010) | 100.0 | 6.0 | 11.5 | 6.3 | 5.5 | 3.2 | 7.5 | 13.8 | 15.1 | 8.0 | 7.5 | 1.7 | 1.1 | 0.4 | 12.4 |
| 平成23年(2011) | 100.0 | 5.8 | 10.2 | 5.7 | 5.1 | 2.0 | 8.9 | 13.7 | 18.2 | 7.7 | 8.6 | 2.1 | 1.2 | 0.5 | 10.3 |
| 平成24年(2012) | 100.0 | 7.0 | 11.7 | 5.7 | 6.0 | 2.1 | 8.9 | 11.7 | 16.9 | 7.4 | 6.3 | 1.6 | 0.9 | 0.3 | 13.5 |
| 平成25年(2013) | 100.0 | 6.2 | 10.9 | 6.0 | 5.2 | 2.2 | 9.9 | 12.7 | 17.6 | 7.0 | 6.1 | 1.9 | 1.0 | 0.4 | 12.9 |
| 合計 | 100.0 | 4.2 | 18.7 | 5.1 | 5.1 | 2.4 | 7.6 | 11.7 | 17.1 | 10.9 | 3.3 | 1.7 | 1.6 | 0.6 | 10.0 |

※平成8年までは、ICD9による集計

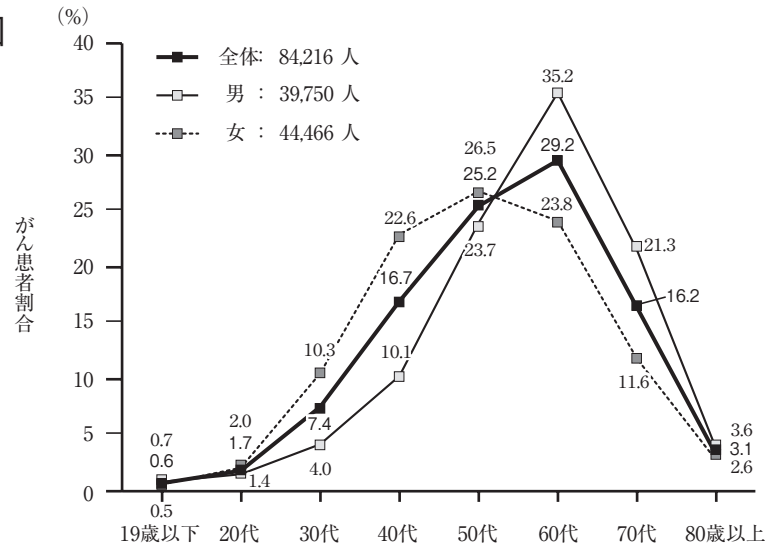
登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964 - 2012

| 登録(診断)年 | 症例数 | 経過年数 | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 1年経過 | 2年経過 | 3年経過 | 4年経過 | 5年経過 | 10年経過 |
| 昭和39年(1964) | 65 | 38 | 33 | 31 | 26 | 23 | 15 |
| 昭和40年(1965) | 1,437 | 801 | 637 | 572 | 541 | 508 | 414 |
| 昭和41年(1966) | 1,606 | 965 | 764 | 673 | 640 | 613 | 507 |
| 昭和42年(1967) | 1,525 | 915 | 708 | 619 | 576 | 551 | 443 |
| 昭和43年(1968) | 1,485 | 940 | 746 | 662 | 617 | 582 | 472 |
| 昭和44年(1969) | 1,571 | 981 | 788 | 697 | 630 | 593 | 502 |
| 昭和45年(1970) | 1,567 | 1,019 | 803 | 724 | 671 | 629 | 536 |
| 昭和46年(1971) | 1,639 | 1,049 | 850 | 768 | 701 | 642 | 535 |
| 昭和47年(1972) | 1,659 | 1,104 | 907 | 820 | 753 | 713 | 593 |
| 昭和48年(1973) | 1,497 | 1,010 | 844 | 748 | 707 | 667 | 561 |
| 昭和49年(1974) | 1,364 | 948 | 769 | 684 | 638 | 597 | 497 |
| 昭和50年(1975) | 1,427 | 963 | 776 | 704 | 659 | 634 | 553 |
| 昭和51年(1976) | 1,326 | 924 | 755 | 673 | 636 | 602 | 503 |
| 昭和52年(1977) | 1,286 | 908 | 736 | 677 | 630 | 599 | 521 |
| 昭和53年(1978) | 1,391 | 979 | 811 | 742 | 689 | 654 | 550 |
| 昭和54年(1979) | 1,358 | 985 | 822 | 749 | 701 | 669 | 574 |
| 昭和55年(1980) | 1,377 | 1,005 | 843 | 775 | 720 | 684 | 582 |
| 昭和56年(1981) | 1,363 | 1,016 | 856 | 775 | 737 | 692 | 582 |
| 昭和57年(1982) | 1,332 | 986 | 845 | 763 | 726 | 698 | 564 |
| 昭和58年(1983) | 1,405 | 1,048 | 882 | 798 | 734 | 700 | 593 |
| 昭和59年(1984) | 1,362 | 1,035 | 873 | 792 | 741 | 709 | 602 |
| 昭和60年(1985) | 1,482 | 1,177 | 1,007 | 905 | 841 | 810 | 696 |
| 昭和61年(1986) | 1,396 | 1,094 | 946 | 857 | 808 | 771 | 648 |
| 昭和62年(1987) | 1,384 | 1,100 | 948 | 862 | 787 | 749 | 631 |
| 昭和63年(1988) | 1,421 | 1,140 | 991 | 904 | 856 | 829 | 712 |
| 平成元年(1989) | 1,261 | 985 | 861 | 800 | 766 | 739 | 624 |
| 平成2年(1990) | 1,280 | 1,041 | 898 | 839 | 796 | 761 | 661 |
| 平成3年(1991) | 1,262 | 1,049 | 917 | 846 | 799 | 760 | 661 |
| 平成4年(1992) | 1,344 | 1,099 | 955 | 887 | 849 | 815 | 698 |
| 平成5年(1993) | 1,464 | 1,193 | 1,037 | 941 | 894 | 858 | 726 |
| 平成6年(1994) | 1,469 | 1,206 | 1,075 | 993 | 930 | 894 | 767 |
| 平成7年(1995) | 1,463 | 1,190 | 1,032 | 935 | 878 | 850 | 718 |
| 平成8年(1996) | 1,462 | 1,201 | 1,054 | 947 | 907 | 859 | 729 |
| 平成9年(1997) | 1,598 | 1,336 | 1,146 | 1,041 | 980 | 940 | 750 |
| 平成10年(1998) | 1,684 | 1,367 | 1,198 | 1,096 | 1,031 | 980 | 768 |
| 平成11年(1999) | 1,810 | 1,470 | 1,271 | 1,163 | 1,099 | 1,056 | 976 |
| 平成12年(2000) | 1,812 | 1,492 | 1,294 | 1,195 | 1,118 | 1,054 | 969 |
| 平成13年(2001) | 1,922 | 1,557 | 1,372 | 1,259 | 1,176 | 1,114 | 997 |
| 平成14年(2002) | 2,049 | 1,682 | 1,447 | 1,299 | 1,222 | 1,181 | 1,027 |
| 平成15年(2003) | 2,085 | 1,719 | 1,485 | 1,375 | 1,310 | 1,278 | 1,125 |
| 平成16年(2004) | 2,162 | 1,830 | 1,570 | 1,440 | 1,434 | 1,357 | 1,220 |
| 平成17年(2005) | 2,223 | 1,849 | 1,719 | 1,619 | 1,613 | 1,507 | |
| 平成18年(2006) | 2,192 | 2,070 | 2,024 | 1,839 | 1,722 | 1,617 | |
| 平成19年(2007) | 2,359 | 2,027 | 1,941 | 1,836 | 1,690 | 1,637 | |
| 平成20年(2008) | 2,451 | 2,114 | 1,900 | 1,769 | 1,678 | 1,634 | |
| 平成21年(2009) | 2,832 | 2,397 | 2,130 | 1,986 | 1,923 | 1,916 | |
| 平成22年(2010) | 2,975 | 2,561 | 2,284 | 2,161 | 2,134 | | |
| 平成23年(2011) | 2,417 | 2,321 | 2,193 | 2,171 | | | |
| 平成24年(2012) | 2,978 | 2,667 | 2,612 | | | | |

登録(診断)年次別がん患者の実測生存率(%) (男女計) 1964 - 2012

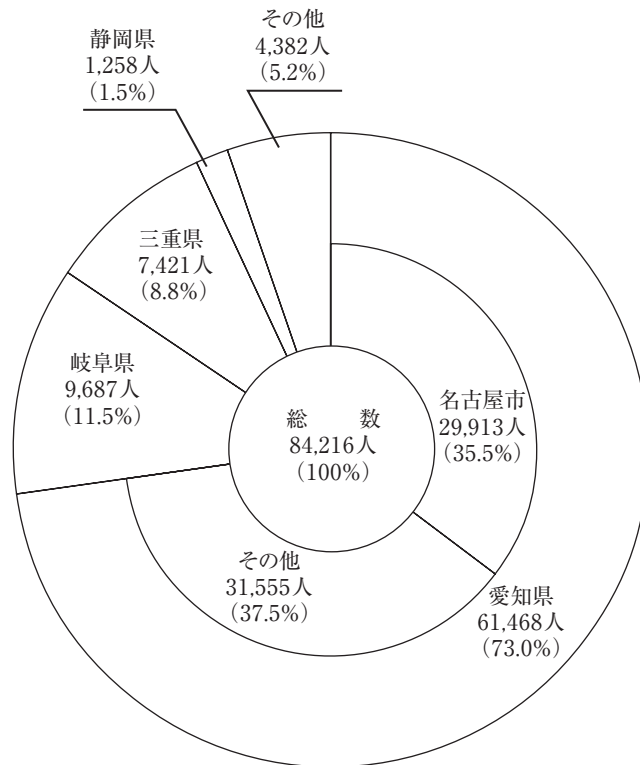
| 登録(診断)年 | 経過年数 | | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| | 1年経過 | 2年経過 | 3年経過 | 4年経過 | 5年経過 | 10年経過 |
| 昭和39年(1964) | 58.5 | 50.8 | 47.7 | 40.0 | 35.4 | 23.1 |
| 昭和40年(1965) | 55.7 | 44.3 | 39.8 | 37.6 | 35.4 | 28.8 |
| 昭和41年(1966) | 60.1 | 47.6 | 41.9 | 39.9 | 38.2 | 31.6 |
| 昭和42年(1967) | 60.0 | 46.4 | 40.6 | 37.8 | 36.1 | 29.0 |
| 昭和43年(1968) | 63.3 | 50.2 | 44.6 | 41.5 | 39.2 | 31.8 |
| 昭和44年(1969) | 62.4 | 50.2 | 44.4 | 40.1 | 37.7 | 32.0 |
| 昭和45年(1970) | 65.0 | 51.2 | 46.2 | 42.8 | 40.1 | 34.2 |
| 昭和46年(1971) | 64.0 | 51.9 | 46.9 | 42.8 | 39.2 | 32.6 |
| 昭和47年(1972) | 66.5 | 54.7 | 49.4 | 45.4 | 43.0 | 35.7 |
| 昭和48年(1973) | 67.5 | 56.4 | 50.0 | 47.2 | 44.6 | 37.5 |
| 昭和49年(1974) | 69.5 | 56.4 | 50.1 | 46.8 | 43.8 | 36.4 |
| 昭和50年(1975) | 67.5 | 54.4 | 49.3 | 46.2 | 44.4 | 38.8 |
| 昭和51年(1976) | 69.7 | 56.9 | 50.8 | 48.0 | 45.4 | 37.9 |
| 昭和52年(1977) | 70.6 | 57.2 | 52.6 | 49.0 | 46.6 | 40.5 |
| 昭和53年(1978) | 70.4 | 58.3 | 53.3 | 49.5 | 47.0 | 39.5 |
| 昭和54年(1979) | 72.5 | 60.5 | 55.2 | 51.6 | 49.3 | 42.3 |
| 昭和55年(1980) | 73.0 | 61.2 | 56.3 | 52.3 | 49.7 | 42.3 |
| 昭和56年(1981) | 74.5 | 62.8 | 56.9 | 54.1 | 50.8 | 42.7 |
| 昭和57年(1982) | 74.0 | 63.4 | 57.3 | 54.5 | 52.4 | 42.3 |
| 昭和58年(1983) | 74.6 | 62.8 | 56.8 | 52.2 | 49.8 | 42.2 |
| 昭和59年(1984) | 76.0 | 64.1 | 58.1 | 54.4 | 52.1 | 44.2 |
| 昭和60年(1985) | 79.4 | 67.9 | 61.1 | 56.7 | 54.7 | 47.0 |
| 昭和61年(1986) | 78.4 | 67.8 | 61.4 | 57.9 | 55.2 | 46.4 |
| 昭和62年(1987) | 79.5 | 68.5 | 62.3 | 56.9 | 54.1 | 45.6 |
| 昭和63年(1988) | 80.2 | 69.7 | 63.6 | 60.2 | 58.3 | 50.1 |
| 平成元年(1989) | 78.1 | 68.3 | 63.4 | 60.7 | 58.6 | 49.5 |
| 平成2年(1990) | 81.3 | 70.2 | 65.5 | 62.2 | 59.5 | 51.6 |
| 平成3年(1991) | 83.1 | 72.7 | 67.0 | 63.3 | 60.2 | 52.4 |
| 平成4年(1992) | 81.8 | 71.1 | 66.0 | 63.2 | 60.6 | 51.9 |
| 平成5年(1993) | 81.5 | 70.8 | 64.3 | 61.1 | 58.6 | 49.6 |
| 平成6年(1994) | 82.1 | 73.2 | 67.6 | 63.3 | 60.9 | 52.2 |
| 平成7年(1995) | 81.3 | 70.5 | 63.9 | 60.0 | 58.1 | 49.1 |
| 平成8年(1996) | 82.1 | 72.1 | 64.8 | 62.0 | 58.8 | 49.9 |
| 平成9年(1997) | 83.6 | 71.7 | 65.1 | 61.3 | 58.8 | 46.9 |
| 平成10年(1998) | 81.2 | 71.1 | 65.1 | 61.2 | 58.2 | 45.6 |
| 平成11年(1999) | 81.2 | 70.2 | 64.3 | 60.7 | 58.3 | 53.9 |
| 平成12年(2000) | 82.3 | 71.4 | 65.9 | 61.7 | 58.2 | 53.5 |
| 平成13年(2001) | 81.0 | 71.4 | 65.5 | 61.2 | 58.0 | 51.9 |
| 平成14年(2002) | 82.1 | 70.6 | 63.4 | 59.6 | 57.6 | 50.1 |
| 平成15年(2003) | 82.4 | 71.2 | 65.9 | 62.8 | 61.3 | 54.0 |
| 平成16年(2004) | 84.6 | 72.6 | 66.6 | 66.3 | 62.8 | 51.8 |
| 平成17年(2005) | 83.2 | 77.3 | 72.8 | 72.6 | 67.8 | |
| 平成18年(2006) | 94.4 | 92.3 | 83.9 | 78.6 | 73.8 | |
| 平成19年(2007) | 85.9 | 82.3 | 77.8 | 71.6 | 69.4 | |
| 平成20年(2008) | 86.3 | 77.5 | 72.2 | 68.5 | 66.7 | |
| 平成21年(2009) | 84.6 | 75.2 | 70.1 | 67.9 | 67.4 | |
| 平成22年(2010) | 86.0 | 76.8 | 72.6 | 71.6 | | |
| 平成23年(2011) | 96.0 | 90.7 | 86.1 | | | |
| 平成24年(2012) | 89.6 | 87.7 | | | | |

がん患者 年齢構成図 (昭和39年12月～平成25年12月)



| | | 19歳以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80歳以上 | 合計 |
|---|-----|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 男 | 患者数 | 281 | 554 | 1,607 | 4,010 | 9,411 | 13,990 | 8,458 | 1,439 | 39,750 |
| | % | 0.7% | 1.4% | 4.0% | 10.1% | 23.7% | 35.2% | 21.3% | 3.6% | 100.0% |
| 女 | 患者数 | 214 | 873 | 4,593 | 10,069 | 11,776 | 10,605 | 5,172 | 1,164 | 44,466 |
| | % | 0.5% | 2.0% | 10.3% | 22.6% | 26.5% | 23.8% | 11.6% | 2.6% | 100.0% |
| 計 | 患者数 | 495 | 1,427 | 6,200 | 14,079 | 21,187 | 24,595 | 13,630 | 2,603 | 84,216 |
| | % | 0.6% | 1.7% | 7.4% | 16.7% | 25.2% | 29.2% | 16.2% | 3.1% | 100.0% |

がん患者 県別分布数 (昭和39年12月～平成25年12月)



レジデント履修状況

| 区分 | 総数 | 消化器内科コース | 呼吸器内科コース | 腫瘍内科・血液内科コース | 頭頸部外科コース | 呼吸器外科・乳腺科コース(注) | 消化器外科コース | 婦人科・泌尿器整形科・形成外科コース | 放射線診断コース | 放射線治療コース | 遺伝子病理診断コース | 麻酔科コース |
|---------|-------|----------|----------|--------------|----------|-----------------|----------|--------------------|----------|----------|------------|--------|
| 61~23年度 | 942 | 85 | 52 | 37 | 85 | 123 | 116 | 47 | 81 | 292 | 22 | 2 |
| 24年度 | 42 | 5 | 1 | 8 | 6 | 8 | 6 | 2 | 2 | 1 | 3 | 0 |
| 25年度 | 50 | 6 | 2 | 10 | 8 | 10 | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| 26年度 | 53 | 7 | 3 | 8 | 6 | 10 | 6 | 4 | 2 | 5 | 2 | 0 |
| 総数 | 1,087 | 103 | 58 | 63 | 105 | 151 | 134 | 55 | 87 | 300 | 29 | 2 |

(注)平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

リサーチレジデント履修状況

| 区分 | 総数 | 疫学・予防学コース | 腫瘍病理学コース | 分子腫瘍学コース | 遺伝子医療研究コース | 腫瘍免疫学コース | 分子病態学コース | 感染腫瘍学コース(注1) | 腫瘍医化学コース(注2) | 臨床研究基礎コース |
|---------|-----|-----------|----------|----------|------------|----------|----------|--------------|--------------|-----------|
| 13~23年度 | 94 | 7 | 11 | 6 | 11 | 11 | 9 | 16 | 16 | 7 |
| 24年度 | 11 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 25年度 | 16 | 2 | 1 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 |
| 26年度 | 16 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | 2 | 0 | 3 | 0 |
| 総数 | 137 | 13 | 15 | 17 | 15 | 17 | 12 | 18 | 23 | 7 |

(注1)平成25年度までは腫瘍ウイルス学コース

(注2)平成25年度までは発がん制御研究コース

医療技術者研修受入れ状況

| 区分 | 総数 | 41~21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------------|-------|---------|------|------|------|------|------|
| 総数 | 5,443 | 5,061 | 85 | 65 | 81 | 77 | 74 |
| 医師 | 3,450 | 3,183 | 70 | 42 | 51 | 53 | 51 |
| 診療放射線技師 | 226 | 223 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 臨床(衛生)検査技師 | 582 | 561 | 4 | 3 | 7 | 4 | 3 |
| 看護師 | 302 | 290 | 1 | 3 | 4 | 2 | 2 |
| その他 | 883 | 804 | 10 | 16 | 19 | 17 | 17 |

図書蔵書状況 (受入数-除籍数=総数)

| 年度 | 種類 | 総数 | 単行本 | | 専門雑誌 | |
|------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 洋 | 和 | 洋 | 和 |
| 40~23年度受入れ | | 68,523 | 11,732 | 17,462 | 28,302 | 11,027 |
| 24年度〃 | | 924 | 55 | 569 | 40 | 260 |
| 25年度〃 | | 1,114 | 78 | 741 | 11 | 284 |
| 26年度〃 | | 1,058 | 30 | 742 | 38 | 248 |
| 除籍累計 | | 13,038 | 3,203 | 3,779 | 4,734 | 1,322 |
| 総数 | | 58,581 | 8,692 | 15,735 | 23,657 | 10,497 |

主な備品・設備

備 品 (平成27年4月1日現在)

(3,000万円以上)

| 品 名 | 取得年度 | 型 式 | 数量 | 設置場所 |
|-------------------------|----------|--|----|------------|
| 心電図自動解析装置 | 平成3年度 | FCP-800 フクダ電子 | 1 | 血液・細胞療法部 |
| 自動化学分析装置 | 平成23年度 | Labospect008 (タイプ1) | 1 | 生化学検査室 |
| 診断用X線装置 | ※ 昭和61年度 | KXO850 東芝 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| X線TV装置 | 平成3年度 | DBW-220A型 東芝 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 放射線モニタリングシステム | 平成3年度 | MSR-500 アロカ | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 多方向X線撮影装置 | ※ 平成3年度 | VS-20 島津 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 超高速再構成演算装置 | 平成8年度 | 東芝 CT透視モード | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| デジタル画像処理装置 | ※ 平成10年度 | DEP-2000A/AS 東芝メディカル | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 全身用X線コンピュータ断層撮影装置 | 平成17年度 | Aquilion32 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 乳房X線撮影装置 | 平成25年度 | AMULET Innovality 富士 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 磁気共鳴断層撮影装置 | 平成20年度 | GE横河メディカルシステム Singa HDxt 3.0T | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| Cアーム型X線テレビシステム | 平成21年度 | ULTIMAX-I | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| モニター読影入力システム | 平成22年度 | 富士フィルムメディカル 放射線読影レポートシステム F-Report | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 据置型デジタル式汎用X線撮影装置 | 平成22年度 | 富士フィルムメディカル FUJIFILM DR BENE0 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 据置型デジタル式汎用X線透視診断装置 | 平成22年度 | H立メデイコ CUREVISTA | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 全身用X線CT診断装置 | 平成24年度 | Aquilion PRIME 東芝 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 2検出器可変型ガンマカメラシステム | 平成24年度 | Infina3 Hawkeye4 GE社 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 画像保存通信装置 | 平成26年度 | SYNAPSE/Rapideyecore 富士フィルムメディカル社 | 1 | 放射線診断・IVR部 |
| 医療用リニアック | ※ 平成15年度 | CLINAC-21EX バリアンメディカルシステムズ | 1 | 放射線治療部 |
| 医療用リニアックセラレータ | 平成17年度 | Hi-ARTシステム・Tomo Therapy | 1 | 放射線治療部 |
| 医療用リニアック | 平成23年度 | エレクタ製 Synergy | 1 | 放射線治療部 |
| 小線源確認写真撮影装置 | 平成19年度 | Cvision PLUS 島津製作所 | 1 | 放射線治療部 |
| 放射線治療位置決め装置 | 平成19年度 | LX-40A 東芝メディカルシステムズ | 1 | 放射線治療部 |
| 放射線治療情報システム | 平成23年度 | エレクタ製 MOSAIQ OIS | 1 | 放射線治療部 |
| 全身用X線コンピュータ断層撮影装置 | 平成26年度 | Aquilion LB-TSX-201A 東芝メディカルシステムズ社 | 1 | 放射線治療部 |
| 遠隔操作式腔内治療装置 | 平成26年度 | マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン社 | 1 | 放射線治療部 |
| 上部消化管内視鏡手術総合システム | 平成25年度 | EVIS LUCERA ELITE オリンパスメディカルシステムズ | 1 | 内視鏡部 |
| FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム | 平成24年度 | Ultimax-i 東芝 | 1 | 内視鏡部 |
| 自動カート洗浄装置 | ※ 平成3年度 | CWR-2500W サクラ精機 | 1 | 中材事務室 |
| 集中患者監視システム | 平成3年度 | CBN-3000CN特型 コーリン電子 | 1 | 手術室 |
| 手術室内ITVシステム | ※ 平成3年度 | 特型 ソニー | 1 | 手術室 |
| 手術用顕微鏡 | 平成25年度 | OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック | 1 | 手術室 |
| カルテ保管庫 | ※ 平成5年度 | カルテ管理システム 日本ファイリング | 1 | 診療録管理室 |
| 医局システム机 | ※ 平成3年度 | 特型 ソニー | 1 | 医局 |
| 共焦点レーザー顕微鏡 | 平成18年度 | LSM510MATE-ACC カールツァイス | 1 | 腫瘍医化学部 |
| 動物飼育設備 | 平成11年度 | ダイダマン | 1 | 中央実験室 |
| 放射線管理総合システム | 平成21年度 | MSR3000 アロカ | 1 | 中央実験室 |
| 高速自動セルソーター | 平成25年度 | FACS AriaIII 日本バクテンデッキンソン | 1 | 中央実験室 |
| 次世代DNAシーケンサー | 平成26年度 | NextSeq500システム イルミナ社 | 1 | 中央実験室 |
| 質量分析システム | 平成22年度 | エービー・サイエックス製4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer | 1 | 研究所 |
| 中央実験台等 | ※ 平成11年度 | イトーキ | 1 | 共通実験室 |

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成27年4月1日現在)

| 設備名 | 設 備 機 械 | 数量 | 設備名 | 設 備 機 械 | 数量 | 設備名 | 設 備 機 械 | 数量 |
|--------|-------------|-----|---------|-------------------|----|--------|------------|----|
| 空気換気設備 | 冷 凍 機 | 4 | 電 気 設 備 | 特高受電用変圧器 | 2 | 医療ガス設備 | 液体酸素貯蔵タンク | 1 |
| | ヒートポンプチャラー | 4 | | 高圧配電用変圧器 | 49 | | 真空ポンプ(吸引用) | 4 |
| | ボ イ ラ ー | 2 | | 非 常 用 発 電 機 | 3 | | 液体窒素貯蔵タンク | 1 |
| | 貫 流 ボ イ ラ ー | 3 | | 常 用 発 電 機 (コージェネ) | 1 | | 純正空気用混合器 | 1 |
| | 冷 温 水 発 生 器 | 5 | | 常 用 発 電 機 (小水力) | 1 | | | |
| | 空 調 機 | 118 | | 電 話 交 換 機 | 1 | | | |
| | 送 排 風 機 | 322 | | 昇 降 機 | 19 | | | |

病院業務 (平成27年4月1日現在)

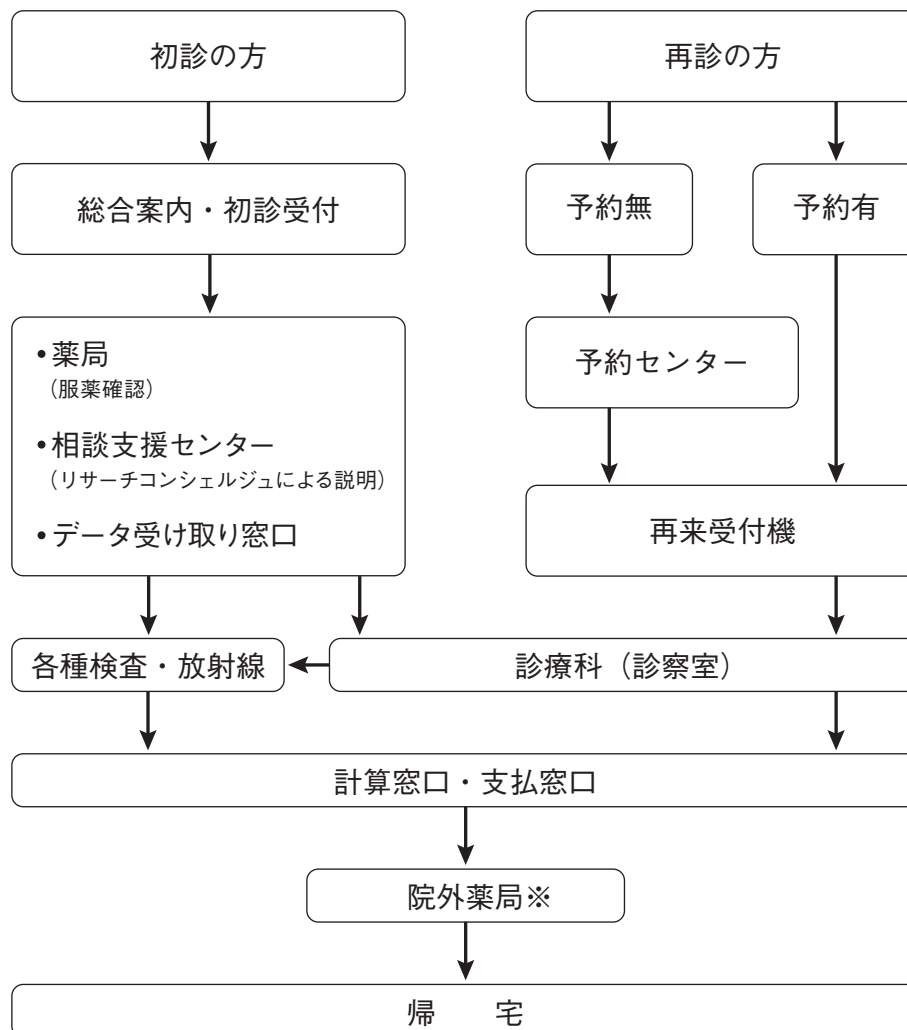
中央病院の特色

- (1) がんに対する診断・治療と研究が一体となった理想的な基幹病院とする。
- (2) 手術・放射線・臨床検査・化学療法部門の機能を一体化し、集学化を図る。
- (3) 国内外の医療関係者との技術交流を行い、医学の国際交流を推進する。
- (4) 先進医療実施病院として、常に高度な治療を目指す。
- (5) 都道府県がん診療連携拠点病院として、本県の中心的ながん診療機能を担うとともに、医療従事者の研修、地域がん診療連携拠点病院の支援を行う。

診療科目 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計 23 診療科

病床数 500床

外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方

外来患者状況

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 診 療 日 数 | 243 | 244 | 245 | 244 | 244 |
| 新 来 患 者 数 | 5,557 | 5,481 | 5,548 | 5,468 | 5,279 |
| 患 者 延 数 | 149,769 | 149,626 | 150,654 | 154,951 | 141,149 |
| 1 日 平 均 患 者 数 | 616.3 | 613.2 | 614.9 | 635.0 | 578.5 |
| 平 均 通 院 回 数 | 27.0 | 27.3 | 27.2 | 28.3 | 26.7 |
| 紹 介 患 者 比 率 | 80.9 | 84.2 | 87.1 | 90.6 | 93.7 |
| 外 来 化 学 療 法 件 数 | 19,452 | 20,817 | 21,011 | 21,762 | 19,820 |

入院患者状況

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|---------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 患 者 総 数 | 総 数 | 10,020 | 9,854 | 9,800 | 9,627 | 9,508 |
| | 繰 越 | 396 | 336 | 325 | 344 | 327 |
| | 新入院 | 9,624 | 9,518 | 9,475 | 9,283 | 9,181 |
| 退 院 患 者 数 | 総 数 | 9,594 | 9,609 | 9,456 | 9,300 | 9,140 |
| | 死 亡 | 455 | 468 | 395 | 434 | 372 |
| | その他 | 9,139 | 9,141 | 9,061 | 8,866 | 8,768 |
| 患 者 延 数 | | 154,352 | 150,036 | 149,650 | 144,191 | 135,983 |
| 1 日 平 均 患 者 数 | | 422.9 | 409.9 | 410.0 | 395.0 | 372.6 |
| 平 均 在 院 日 数 | | 15.1 | 14.7 | 14.8 | 14.5 | 13.9 |
| 病 床 利 用 率 | | 89.4 | 86.7 | 86.7 | 83.5 | 78.8 |
| 病 床 回 転 率 | | 22.7 | 23.3 | 23.1 | 23.5 | 24.6 |
| 死 亡 率 | | 4.7 | 4.9 | 4.2 | 4.7 | 4.1 |

住所地別患者数

| 区 分 | 住 所 地 | 23年度 | | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | |
|---------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 外 来 新 来 患 者 数 | 愛 知 県 | 4,171 | 76.1% | 4,205 | 75.8% | 3,978 | 72.8% | 3,833 | 72.6% |
| | 名古屋市 | 2,203 | 40.2% | 2,125 | 38.3% | 1,896 | 34.7% | 1,812 | 34.3% |
| | その他 | 1,967 | 35.9% | 2,080 | 37.5% | 2,082 | 38.1% | 2,021 | 38.3% |
| | 県 外 | 1,310 | 23.9% | 1,343 | 24.2% | 1,490 | 27.2% | 1,446 | 27.4% |
| | 総 数 | 5,481 | 100.0% | 5,548 | 100.0% | 5,468 | 100.0% | 5,279 | 100.0% |
| 新 入 院 患 者 数 | 愛 知 県 | 7,024 | 73.8% | 6,735 | 71.1% | 6,749 | 72.7% | 6,770 | 73.7% |
| | 名古屋市 | 3,350 | 35.2% | 3,358 | 35.4% | 3,112 | 33.5% | 3,211 | 35.0% |
| | その他 | 3,674 | 38.6% | 3,377 | 35.7% | 3,637 | 39.2% | 3,559 | 38.7% |
| | 県 外 | 2,494 | 26.2% | 2,740 | 28.9% | 2,534 | 27.3% | 2,411 | 26.3% |
| | 総 数 | 9,518 | 100.0% | 9,475 | 100.0% | 9,283 | 100.0% | 9,181 | 100.0% |

患者給食実施状況

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|----------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 入院患者延数 | | 154,352 | 150,036 | 149,650 | 144,191 | 135,983 |
| 給食数 (配膳延人数) | 総数 | 121,252 | 116,994 | 125,746 | 111,116 | 106,238 |
| | 一般食 | 101,263 | 93,428 | 89,836 | 84,038 | 77,186 |
| | 特別食 | 19,989 | 23,566 | 35,910 | 27,078 | 29,052 |
| 給食率 | | 78.6 | 78.0 | 84.0 | 77.1 | 78.1 |

放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | | 45,001 | 44,232 | 44,832 | 44,858 | 46,564 |
| 単純撮影 | | 39,035 | 38,309 | 38,776 | 38,906 | 40,524 |
| 造影撮影 | | 4,988 | 4,787 | 4,844 | 4,515 | 4,528 |
| 特殊撮影 | | 978 | 1,136 | 1,212 | 1,437 | 1,512 |

アイトープ検査件数

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|----------|--|-------|-------|-------|------|------|
| 総数 | | 1,159 | 1,052 | 1,060 | 958 | 845 |
| センチスキヤン | | 840 | 721 | 714 | 630 | 507 |
| センチネルリンパ | | 308 | 327 | 337 | 326 | 333 |
| 動態計測 | | 11 | 4 | 9 | 2 | 5 |

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影（CT）件数

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総件数 | | 14,861 | 15,294 | 16,020 | 17,060 | 17,588 |

超音波断層撮影件数

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総数 | | 3,595 | 3,621 | 3,337 | 3,499 | 3,517 |
| 部位別 | 甲状腺 | 588 | 659 | 311 | 293 | 267 |
| | 乳腺 | 775 | 682 | 619 | 681 | 667 |
| | 腹部 | 1,681 | 1,886 | 2,141 | 2,140 | 2,133 |
| | その他 | 551 | 394 | 266 | 385 | 450 |

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

診察室における超音波検査件数は各診療科検査実績参照。

(平成21年度までは全て超音波検査室で実施)

MRI件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総 数 | 3,577 | 3,610 | 3,887 | 3,946 | 3,872 |

放射線照射回数（治療）

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|-------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総 数 | 60,995 | 57,324 | 55,448 | 54,362 | 51,702 | |
| 放射線治療計画策定件数 | 1,384 | 1,402 | 1,240 | 1,496 | 1,476 | |
| 放射性物質 | R A L S | 95 | 58 | 52 | 51 | 49 |
| | 小 線 源 | 19 | 26 | 20 | 12 | 17 |
| そ の 他 | リニアック | 58,320 | 54,732 | 53,093 | 51,685 | 49,032 |
| | C T | 981 | 902 | 960 | 1,043 | 1,083 |
| | シミュレーター | 196 | 204 | 83 | 75 | 45 |

一般臨床検査件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|------------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-------------------|------------------|---------|
| 総 数 | 2,791,468 | 2,831,987 | 2,952,465 | 3,082,084 | 3,047,698 | |
| 尿 検 査 | 27,733 | 27,213 | 27,237 | 27,194 | 26,452 | |
| 糞 便 検 査 | 747 | 641 | 584 | 532 | 426 | |
| 血液学的検査 | 902,890 | 897,307 | 927,277 | 967,033 | 949,938 | |
| 生化学的検査 | 1,453,125 | 1,484,230 | 1,561,538 | 1,636,016 | 1,612,858 | |
| 細菌学的検査 （監視培養検査） | 16,309 (905) | 16,784 (1,008) | 20,066 (996) | 21,429 (1,563) | 23,213 (1563) | |
| 血清学的検査 （アイソトープ使用検査） | 193,101 (1,740) | 203,495 ※(733) | 212,646 0 | 220,594 0 | 223,968 0 | |
| 病理組織検査 | 8,303 | 8,484 | 8,549 | 8,695 | 8,629 | |
| 癌遺伝子検査 | 1,580 | 1,878 | 1,986 | 2,191 | 2,223 | |
| 細胞学的検査 | 7,345 | 7,267 | 7,117 | 7,329 | 7,347 | |
| 血液ガス検査 | 3,699 | 4,066 | 4,261 | 4,141 | 4,374 | |
| その他 | 採血業務 | 173,633 | 177,366 | 178,132 | 185,224 | 185,991 |
| | 治験処理等 | 3,003 | 3,256 | 3,072 | 1,706 | 2,279 |

(注)() 内は再掲。

※平成23年9月よりRI検査中止→外注委託

機能検査件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総 数 | 16,513 | 17,734 | 18,434 | 19,306 | 20,911 |
| 心 電 図 検 査 | 3,871 | 4,377 | 4,700 | 4,689 | 5,065 |
| 負 荷 心 電 図 検 査 | 1,864 | 1,876 | 1,927 | 2,026 | 2,038 |
| ト レ ッ ド ミ ル 検 査 | 705 | 839 | 807 | 811 | 843 |
| ホ ル タ ー 心 電 図 検 査 | 381 | 412 | 267 | 247 | 273 |
| 心 臓 超 音 波 検 査 | 2,221 | 2,446 | 2,721 | 2,652 | 2,789 |
| 肺 機 能 検 査 | 6,569 | 6,868 | 7,139 | 7,913 | 8,944 |
| ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験 | 81 | 89 | 67 | 123 | 162 |
| 聴 力 検 査 | 102 | 162 | 177 | 144 | 116 |
| 乳 腺 超 音 波 検 査 | 719 | 665 | 629 | 701 | 681 |
| 骨 塩 定 量 検 査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| そ の 他 検 査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(注) その他の検査はバクトル心電図検査、心音図検査、心拍出力検査、脳波検査を含む。

部門別検査件数（県立病院統一件数）

| 区 分 | 24年度 | | | 25年度 | | | 26年度 | | |
|---------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 総件数 | 院内件数 | 外注件数 | 総件数 | 院内件数 | 外注件数 | 総件数 | 院内件数 | 外注件数 |
| 総 数 | 2,887,743 | 2,866,596 | 21,147 | 2,994,636 | 2,971,697 | 22,939 | 3,004,397 | 2,979,734 | 24,663 |
| 一般検査 | 116,962 | 116,920 | 42 | 113,318 | 113,290 | 28 | 109,375 | 109,365 | 10 |
| 血液検査 | 642,082 | 641,169 | 913 | 656,885 | 656,047 | 838 | 643,948 | 643,270 | 678 |
| 免疫血清検査 | 113,895 | 109,033 | 4,862 | 113,229 | 108,289 | 4,940 | 154,295 | 147,434 | 6,861 |
| 生化学検査 | 1,678,754 | 1,664,662 | 14,092 | 1,761,900 | 1,746,161 | 15,739 | 1,737,074 | 1,721,842 | 15,232 |
| 微生物検査 | 40,054 | 38,883 | 1,171 | 43,783 | 42,512 | 1,271 | 47,507 | 45,787 | 1,720 |
| 病理細胞診検査 | 96,688 | 96,688 | 0 | 98,812 | 98,812 | 0 | 100,420 | 100,420 | 0 |
| 生理検査 | 18,434 | 18,367 | 67 | 19,306 | 19,183 | 123 | 22,949 | 22,787 | 162 |
| その他の検査 | 180,874 | 180,874 | 0 | 187,403 | 187,403 | 0 | 188,829 | 188,829 | 0 |

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

(注) 病理細胞診検査については、①②の理由により減少しました。

①写真撮影のデジタル化により、前年度以前との正確な比較が不能となったため、写真撮影枚数を加えなくなった。

②新システム導入により、手術件数の積算方法が変わった。

内視鏡検査件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------------------------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 総 数 | 8,849 | 8,835 | 8,986 | 10,202 | 9,878 |
| 上 部 消 化 管 | 4,820 | 4,995 | 5,034 | 5,833 | 5,566 |
| 下 部 消 化 管 | 2,627 | 2,246 | 2,191 | 2,632 | 2,617 |
| 気 管 支 | 159 | 177 | 162 | 214 | 210 |
| 膵胆管造影(ERCP) | 422 | 407 | 497 | 475 | 476 |
| 超音波内視鏡(EUS) | 555 | 694 | 759 | 684 | 669 |
| 超音波内視鏡下穿刺生検(EUS-FNBAB) | 266 | 316 | 343 | 364 | 340 |

内視鏡治療件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-------------|------|-------|-------|-------|------|
| 総 数 | 913 | 1,010 | 1,043 | 1,086 | 954 |
| 食 道 E M R | 61 | 48 | 64 | 74 | 76 |
| 胃 E M R | 82 | 92 | 93 | 86 | 85 |
| 大腸EMR、ポリペク | 302 | 359 | 347 | 312 | 344 |
| 食道狭窄拡張術 | 218 | 285 | 250 | 251 | 148 |
| 胆道ステント留置術 | 183 | 139 | 153 | 245 | 163 |
| 乳頭切開術、胆道碎石術 | 67 | 87 | 136 | 118 | 138 |

手術件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総 数 | 2,637 | 2,720 | 2,750 | 2,792 | 2,805 |
| 頭 頸 部 外 科 | 438 | 517 | 506 | 527 | 510 |
| 胸 部 外 科 | 357 | | | | |
| 呼 吸 器 外 科 | | 277 | 275 | 309 | 350 |
| 乳 腺 科 | 416 | 441 | 477 | 497 | 484 |
| 消 化 器 外 科 | 730 | 793 | 803 | 805 | 767 |
| 婦 人 科 | 300 | 273 | 320 | 283 | 271 |
| 泌 尿 器 科 | 175 | 165 | 163 | 164 | 169 |
| 整 形 外 科 | 130 | 146 | 122 | 116 | 141 |
| 形 成 外 科 | 76 | 88 | 68 | 75 | 107 |
| そ の 他 | 15 | 20 | 16 | 16 | 6 |

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。

※平成23年度から呼吸器外科の〈食道〉については消化器外科に含む。

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

| 部 位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部 位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|-----------|------|------|------|---------------|------|-------|-------|-------|
| 頭 頸 部 が ん | 439 | 422 | 433 | 子 宮 が ん | 頸がん | 132 | 122 | 124 |
| 食 道 が ん | 67 | 80 | 81 | | 体がん | 41 | 46 | 51 |
| 肺 が ん | 192 | 220 | 247 | 卵 巣 が ん | | 45 | 39 | 37 |
| 乳 が ん | 445 | 482 | 431 | 前 立 腺 が ん | | 36 | 28 | 20 |
| 胃 が ん | 212 | 231 | 221 | 悪 性 骨 軟 部 腫 瘍 | | 34 | 30 | 26 |
| 大 腸 が ん | 328 | 332 | 303 | I V R | | 1,877 | 1,757 | 1,672 |
| 肝 ・ 胆 が ん | 64 | 62 | 74 | 造 血 幹 細 胞 移 植 | 同 種 | 1 | 1 | 2 |
| 膵 臓 が ん | 68 | 63 | 67 | | 自 家 | 8 | 4 | 9 |

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

| 区 分 | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|----------------------|---------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | | | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | |
| 処 方 | 枚 数 | 総 数 | 75,173 | 76,266 | 79,640 | 79,780 | 76,590 | |
| | | 外 来 | 8,574 | 9,358 | 9,113 | 7,119 | 7,004 | |
| | | 入 院 | 66,599 | 66,908 | 70,527 | 72,661 | 69,586 | |
| | 剤 数 | 総 数 | 137,542 | 140,961 | 149,509 | 151,409 | 149,053 | |
| | | 外 来 | 19,499 | 21,893 | 22,914 | 22,380 | 23,907 | |
| | | 入 院 | 118,043 | 119,068 | 126,595 | 129,029 | 125,146 | |
| | 延 剤 数 | 総 数 | 1,086,309 | 1,134,997 | 1,202,562 | 1,234,068 | 1,232,441 | |
| | | 外 来 | 292,969 | 343,264 | 365,789 | 358,720 | 396,171 | |
| | | 入 院 | 793,340 | 791,733 | 836,773 | 875,348 | 836,270 | |
| 治 験 処 方 枚 数 | | | 総 数 | 1,002 | 846 | 733 | 1,208 | 1,073 |
| | | | 外 来 | 859 | 810 | 710 | 1,080 | 952 |
| | | | 入 院 | 143 | 36 | 23 | 128 | 121 |
| 注 射 | 枚 数 (患者人数) | 総 数 | 104,899 | 106,864 | 109,355 | 104,775 | 97,619 | |
| | | 外 来 | 22,330 | 24,094 | 25,602 | 26,265 | 25,593 | |
| | | 入 院 | 82,569 | 82,770 | 83,753 | 78,510 | 72,026 | |
| | 剤 数 | 総 数 | 478,858 | 502,783 | 519,482 | 469,546 | 419,369 | |
| | | 外 来 | 64,344 | 70,652 | 77,389 | 78,584 | 77,368 | |
| | | 入 院 | 414,514 | 432,131 | 442,093 | 390,962 | 342,001 | |
| 薬 剤 管 理 指 導 数 | | | 人 数 | 2,397 | 2,805 | 4,535 | 6,134 | 6,392 |
| | | | 算 定 件 数 | 2,640 | 3,142 | 5,574 | 7,762 | 8,257 |
| * 1 外来抗がん剤調製数 | 件数(患者数) | | 14,453 | 15,510 | 16,632 | 16,865 | 15,446 | |
| | 剤 数 | | 21,888 | 24,058 | 25,722 | 26,121 | 26,846 | |
| * 2 外来抗がん剤調製数(治験) | 件数(患者数) | | 685 | 1,220 | 1,112 | 1,510 | 975 | |
| | 剤 数 | | 888 | 1,695 | 1,581 | 1,971 | 1,276 | |
| * 3 入院抗がん剤調製数(治験を含む) | 件数(患者数) | | 8,844 | 9,189 | 9,355 | 8,187 | 8,258 | |
| | 剤 数 | | 11,866 | 12,536 | 12,477 | 10,896 | 11,593 | |
| 麻 薬 処 方 せ ん 枚 数 | | | 8,237 | 7,590 | 8,405 | 8,495 | 7,846 | |
| 麻 薬 注 射 せ ん 枚 数 | | | 16,107 | 19,086 | 18,901 | 18,392 | 18,534 | |
| T D M 実 施 件 数 | | | 62 | 89 | 110 | 183 | 163 | |

* 1 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

* 2 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(平成19年度から集計)

* 3 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上(平成20年度から集計)

院外処方せん交付状況(平成26年度)

| 区 分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 処方せん総枚数 | 4,253 | 4,061 | 3,991 | 4,326 | 3,885 | 4,218 | 4,527 | 4,013 | 4,246 | 4,305 | 4,015 | 4,324 | 50,164 |
| 院内処方せん枚数(外来) | 573 | 515 | 577 | 627 | 522 | 582 | 647 | 568 | 612 | 611 | 564 | 606 | 7,004 |
| 院外処方せん枚数 | 3,680 | 3,546 | 3,414 | 3,699 | 3,363 | 3,636 | 3,880 | 3,445 | 3,634 | 3,694 | 3,451 | 3,718 | 43,160 |
| 比率(院外処方せん枚数/処方せん総枚数) % | 86.5% | 87.3% | 85.5% | 85.5% | 86.6% | 86.2% | 85.7% | 85.8% | 85.6% | 85.8% | 86.0% | 86.0% | 86.0% |

平成9年12月2日からオーダーリングシステムによる院外処方せんの交付を開始し、平成10年8月から原則的に全面交付

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位)

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 自 己 血 液 | 325 | 288 | 312 | 417 | 434 |
| 全 血 液 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 赤 血 球 製 剤 | 16 | 58 | 24 | 34 | 34 |
| 赤 血 球 濃 厚 液 | 5,396 | 5,590 | 5,032 | 4,346 | 4,520 |
| 凍 結 血 漿 | 684 | 1,259 | 1,324 | 703 | 940 |
| 血 小 板 | 15,395 | 13,100 | 14,090 | 9,650 | 10,505 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2. 検査件数

(単位：件)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ク ロ ス マ ッ チ | 3,195 | 3,299 | 2,938 | 2,632 | 2,722 |
| 血 液 型 (A B O) | 3,554 | 3,656 | 3,692 | 6,691 | 6,982 |
| R H 因 子 | 3,554 | 3,656 | 3,692 | 6,691 | 6,982 |
| 間 接 ク ー ム ス 試 験 | 9,198 | 9,576 | 9,124 | 2,879 | 3,051 |
| 抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ | 5,981 | 6,259 | 6,162 | 6,073 | 6,332 |
| 直 接 ク ー ム ス 試 験 | 27 | 19 | 23 | 34 | 20 |

(注) ・全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

・直接クーモス試験は平成9年度より、臨床検査部から血液管理部へ移管。

・血液型(ABO)、RH因子、間接クーモス試験については平成25年度より集計方法を変更した。

治験等実施件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-------------------|------|------|------|------|------|
| 治 験 | 108 | 117 | 120 | 135 | 146 |
| 製 造 販 売 後 臨 床 試 験 | 16 | 13 | 11 | 8 | 9 |
| 製 販 後 使 用 成 績 調 査 | 32 | 31 | 28 | 24 | 37 |
| そ の 他 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 合 計 | 158 | 163 | 162 | 169 | 194 |
| (新 規 依 頼 分) | (47) | (44) | (39) | (58) | (61) |
| 医 師 主 導 治 験 | 2 | 5 | 7 | 7 | 7 |

臨床試験実施件数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|
| 登 録 中 の 臨 床 試 験 | 42 | 53 | 59 | 74 | 82 |
| う ち 先 進 医 療 B に 基 づく も の | 0 | 0 | 3 | 3 | 3 |
| 追 跡 調 査 中 の 臨 床 試 験 | 36 | 51 | 47 | 63 | 69 |
| 合 計 | 78 | 104 | 109 | 140 | 154 |

死体解剖数

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------|------|------|------|------|------|
| 死 亡 患 者 数 | 455 | 470 | 395 | 434 | 372 |
| 解 剖 数 | 5 | 18 | 6 | 6 | 2 |
| 解 剖 率 | 1.1 | 3.8 | 1.5 | 1.4 | 0.5 |

研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も設置目的に含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎医学的研究と相まって、当センターの機能を発揮しているが、その研究態勢は、

- (1) 研究所における部別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4態勢で実施されている。平成27年度における研究課題は、次のとおりである。

研究所における部別研究課題

- | | |
|----------|---|
| 疫学・予防部 | <ol style="list-style-type: none">1 がん対策の企画・評価に必要な地域がん登録の資料を活用した、がんの流行と転帰の分析研究2 がんの環境要因、宿主要因、および両者の交互作用を解明するための病院疫学研究3 「健康日本 21 あいち」に基づく愛知県民のためのがん予防啓発技術の開発研究4 がん治療の長期予後(効果)に影響する要因の分析 |
| 腫瘍病理学部 | <ol style="list-style-type: none">1 難治がんの分子病理学的特徴解析の研究 |
| 分子腫瘍学部 | <ol style="list-style-type: none">1 肺がんの発症・進展機序の解明と分子標的療法の探索2 中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究 |
| 遺伝子医療研究部 | <ol style="list-style-type: none">1 造血器腫瘍発症機構の分子生物学的研究及び診断治療への応用2 造血器細胞の分化、増殖に関与する遺伝子の血清学的、分子生物学的研究 |
| 腫瘍免疫学部 | <ol style="list-style-type: none">1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究3 乳がんの発症に関わる遺伝子の解析と臨床応用 |
| 感染腫瘍学部 | <ol style="list-style-type: none">1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用2 ヒトがんウイルス感染による細胞発がん機序の解析 |
| 分子病態学部 | <ol style="list-style-type: none">1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築 |

腫瘍医化学部

- 1 がん細胞周期における新規キナーゼカスケイド
- 2 新しい中心体及び細胞間接着制御因子群の機能解析
- 3 がん細胞の細胞骨格・増殖にかかわる遺伝子の遺伝子改変マウスの作製

中央実験室

- 1 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究

病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 肺癌、中皮腫細胞の解析と診断、治療法への応用
- 2 機能温存を目指す頭頸部癌の外科治療

プロジェクト研究課題

- 1 ganp 遺伝子多型の非遺伝散発性乳癌発症及び悪性進展への寄与の検討
- 2 大腸がん転移抑制遺伝子の同定およびその機能解析
- 3 HER2 陽性胃癌患者のリキッドバイオプシーによるトラスツマブ耐性機序の解明とその克服法の探索
- 4 悪性リンパ腫の治療効果・予後に関与する遺伝子変異の探索

特許の状況

| 区 分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-------------|-----------|------|------|------|------|------|
| 発 明 件 数 | | 7 | 6 | 2 | 5 | 5 |
| 出 願 件 数 | | 6 | 7 | 3 | 5 | 3 |
| 登 録 件 数 | 年 度 当 初 | 11 | 15 | 19 | 27 | 32 |
| | 新 規 | 4 | 4 | 8 | 5 | 4 |
| | 権 利 消 滅 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | 年 度 末 | 15 | 19 | 27 | 32 | 25 |
| 実 施 許 諾 件 数 | 年 度 当 初 | 7 | 6 | 5 | 5 | 6 |
| | 新 規 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 満 了 ・ 解 約 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 年 度 末 | 6 | 5 | 5 | 6 | 6 |

(注) 出願件数には外国出願、国際(PCT)出願を含む。

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

| 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 109 | 99 | 109 | 82 | 71 |

類似病院との比較

| 項 目 | 愛知県 | 順 位 | 埼玉県 | 千葉県 | 静岡県 | 兵庫県 | 宮城県 | 神奈川県 | |
|----------|---------------------------|--------|----------|----------|----------|----------|--------------------|--------------------|---------|
| | がんセンター中央病院 | | がんセンター | がんセンター | がんセンター | がんセンター | がんセンター (独立行政法人) | がんセンター (独立行政法人) | |
| 事業開始年月 | S39.12.1 | | S50.11.1 | S47.11.1 | H14.6.24 | S59.5.22 | S42.4.1 | S38.4.15 | |
| 病床数 | 500 | 3 | 503 | 341 | 589 | 400 | 383 | 415 | |
| ※ 稼働状況 | 病床利用率 (%) | 79.0 | 4 | 73.9 | 81.6 | 84.6 | 81.1 | 75.5 | 77.0 |
| | 平均在院日数 (日) | 14.6 | 5 | 14.5 | 11.7 | 11.7 | 14.4 | 17.9 | 12.4 |
| | 1日平均外来患者数 (人) | 635 | 4 | 757 | 491 | 1,052 | 619 | 328 | 755 |
| ※ 収益状況 | 入院患者1人1日当たり診療収入 (円) | 55,114 | 6 | 57,300 | 65,104 | 63,359 | 61,278 | 50,564 | 64,844 |
| | 外来患者1人1日当たり診療収入 (円) | 31,931 | 3 | 24,934 | 32,097 | 31,800 | 34,053 | 26,567 | 22,834 |
| ※ 繰入金の状況 | 1病床当たり一般会計繰入金額 (千円) | 4,908 | 2 | 5,006 | 8,144 | 10,546 | 2,436 | 5,645 | 5,953 |
| | 一般会計繰入金対経常収入 (%) | 15.0 | 2 | 17.5 | 19.1 | 22.4 | 7.0 | 21.9 | 16.7 |
| ※ 経営状況 | 経常収支比率 (%) | 102.1 | 5 | 88.3 | 112.7 | 102.3 | 104.1 | 106.3 | 101.5 |
| | 医業収支比率 (%) | 94.9 | 5 | 75.3 | 95.4 | 84.3 | 98.9 | 106.9 | 101.6 |
| | 修正医業収支比率 (%) | 87.8 | 3 | 75.1 | 91.7 | 83.9 | 98.9 | 84.5 | 85.5 |
| | 職員給与費対医業収益 (%) | 42.3 | 3 | 57.4 | 47.8 | 40.1 | 44.7 | 43.8 | 40.3 |
| | 病床1床当たり実質損益 (千円) | △4,228 | 3 | △8,789 | △4,296 | △9,897 | △1,082 | △4,122 | △11,397 |
| | 病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円) | 680 | 4 | △3,783 | 3,848 | 649 | 1,354 | 1,523 | △5,444 |
| | 病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円) | 2,356 | 5 | △1,287 | 5,784 | 5,363 | 2,919 | 3,611 | △2,497 |

注1 数値は「平成25年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による

- ・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100
- ・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数
- ・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

外来診療案内

(平成27年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

| 診療科 | 診療内容 | 診察日 |
|------------|---------------|---------|
| 消化器内科 | 消化器疾患 | 月～金 |
| 呼吸器内科 | 呼吸器疾患 | 月～金 |
| 循環器科 | 循環器疾患 | 月・木 |
| 血液・細胞療法科 | 造血器・その他 | 月～金 |
| 薬物療法科 | 固形腫瘍・肉腫・その他 | 月～金 |
| 頭頸部外科 | 口腔・耳鼻咽喉・甲状腺 | 月～金 |
| 形成外科 | | 月・火・水・木 |
| 呼吸器外科 | 肺・縦隔疾患 | 火・水・木・金 |
| 乳腺科 | 乳腺疾患 | 月～金 |
| 消化器外科 | 消化器系統・食道疾患 | 月～金 |
| 整形外科 | 整形外科疾患 | 月・火・水・金 |
| 脳神経外科 | 脳神経疾患 | 火・水 |
| 泌尿器科 | 泌尿器疾患 | 月・水・金 |
| 婦人科 | 婦人科疾患 | 月～金 |
| 皮膚科 | 皮膚疾患 | 水 |
| 眼科 | 眼科疾患 | 金 |
| 放射線診断・IVR科 | 放射線診断・IVR・肝腫瘍 | 月・水・木・金 |
| 放射線治療科 | 放射線治療・その他 | 月～金 |
| 緩和ケア科 | 精神腫瘍科 | 月～金 |
| | 緩和ケア | 月～金 |
| | ペインクリニック | 水 |
| | リンパ浮腫 | 月・水 |

- ※1 セカンドオピニオン外来は、全科に対応しています。(完全予約制・自由診療)
- ※2 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

入院案内

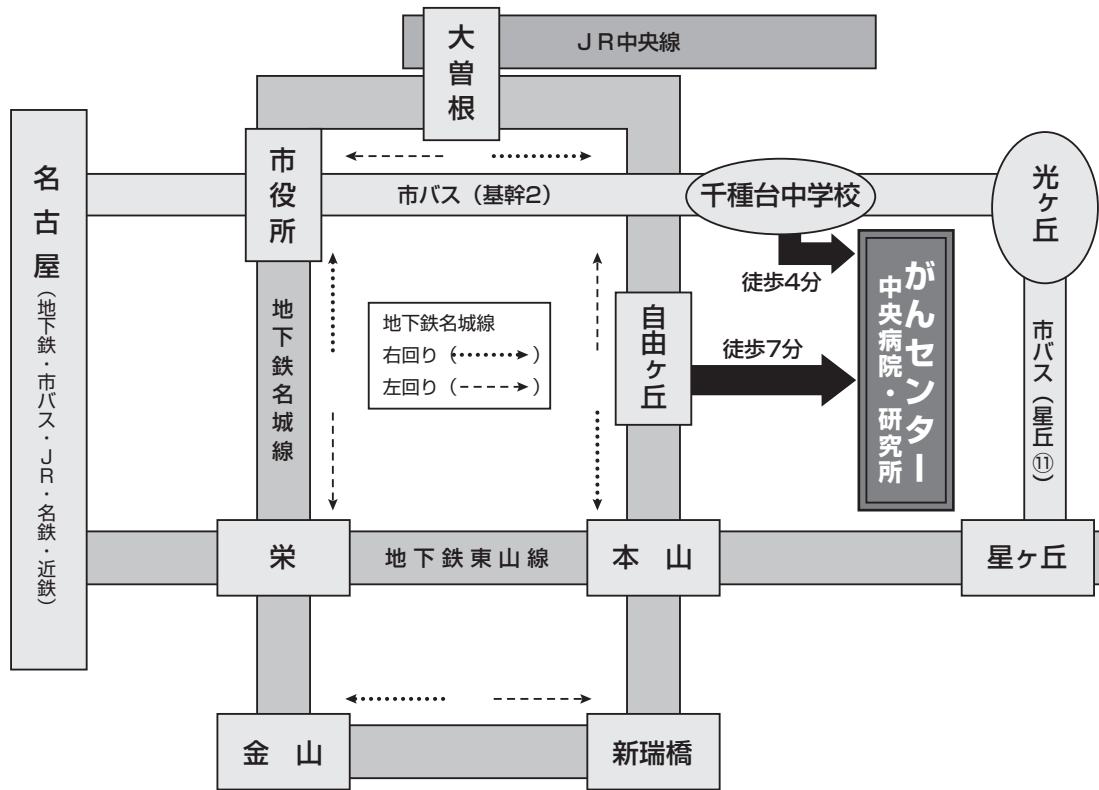
(平成27年4月1日現在)

- ◆ 入院の申込み
 - 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
 - 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
 - 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

| 区分 | A室 | B室 | C室 | D室 |
|-----------|---------|---------|--------|--------|
| 室料(1日につき) | 27,770円 | 13,370円 | 9,250円 | 7,200円 |

- ◆ 面会
 - 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。
月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで
土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
 - 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
 - (1) 面会のときは、看護師に申し出てください。
 - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないよう中央デールーム(面会室)をご利用ください。
 - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
 - (4) 構内は禁煙になっています。
 - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんに迷惑のかからないようお願いします。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約 30 分】
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約 20 分】
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約 35 分】
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約 40 分】
基幹 2 系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約 20 分】
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ5分，平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋 IC」から西へ約 15 分
名古屋 IC より、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ 2,600m 進み、「打越」交差点を右折、1,600m 先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m 先の「希望ヶ丘 4」交差点を左折、300m 先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約 10 分
四谷出口より 800m 先の「四谷通 3」交差点を左折、北へ 1,500m 進み「猫洞通 2」交差点を左折、1,300m 先の「自由ヶ丘 3」交差点を右折、400m 先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター中央病院・研究所概要
平成27年度

平成 27 年 6 月 発行

発行所 愛知県がんセンター
名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (〒464-8681)
Home Page : <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 相羽印刷株式会社
名古屋市守山区瀬古1丁目241番地 (〒463-0068)
電話 052-795-5122 FAX 052-795-5123



愛知県がんセンター
Aichi Cancer Center